

日本外傷データバンク報告 2012 (2007-2011)

JAPAN TRAUMA DATA BANK REPORT 2012 (2007-2011)

- 日本外傷学会 ト라우マレジストリー検討委員会 
- 日本救急医学会 診療の質評価指標に関する委員会 

図1 JTDB参加施設名(全196施設 順不同) 2012年3月

市立札幌病院	日本医科大学付属病院	静岡県立こども病院	関門医療センター
日鋼記念病院	日本医科大学多摩永山病院	静岡済生会総合病院	総合病院 社会保険 徳山中央病院
札幌医科大学附属病院	杏林大学医学部付属病院	豊橋市民病院	山口県立総合医療センター
手稲溪仁会病院	駿河台日本大学病院	愛知医科大学医学部附属病院	鳥取大学医学部付属病院
北海道大学病院	東京女子医科大学	名古屋掖済会病院	徳島県立三好病院
社会医療法人北斗 北斗病院	青梅市立総合病院	社会保険中京病院	徳島県立海部病院
八戸市立市民病院	日本大学医学部附属板橋病院	岡崎市民病院	徳島県立中央病院
弘前大学医学部附属病院	東京医科歯科大学医学部附属病院	総合大雄会病院	医療法人 倚山会 田岡病院
秋田赤十字病院	東京都立墨東病院	名古屋市立大学病院	香川大学医学部附属病院
岩手医科大学	東京医科大学八王子医療センター	藤田保健衛生大学	香川県立中央病院
岩手県立久慈病院	慶應義塾大学病院	済生会滋賀県病院	愛媛県立中央病院
大崎市民病院	聖路加国際病院	近江八幡市立総合医療センター	愛媛大学医学部附属病院救急部
東北大学病院	国立病院機構東京医療センター	京都第二赤十字病院 救命救急センター	高知医療センター
仙台市立病院	東邦大学医療センター大森病院	国立病院機構 京都医療センター	社会医療法人近森会 近森病院
石巻赤十字病院	昭和大学横浜市北部病院	洛和会音羽病院	久留米大学病院
太田西ノ内病院	横浜医療センター	大阪府泉州救命救急センター	飯塚病院
会津中央病院	日本医科大学武蔵小杉病院	大阪府済生会千里病院	健和会大手町病院
筑波メディカルセンター病院	済生会横浜市東部病院	阪和記念病院	北九州市立八幡病院
茨城西南医療センター病院	聖マリアンナ医科大学	大阪府三島救命救急センター	九州大学病院
国立病院機構 水戸医療センター	関東労災病院	近畿大学医学部附属病院	北九州総合病院
筑波大学附属病院	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター	岸和田徳洲会病院	小倉記念病院
獨協医科大学病院	東海大学医学部附属病院	大阪大学医学部附属病院	済生会福岡総合病院
自治医科大学	昭和大学藤が丘病院	大阪市立総合医療センター	福岡大学病院
栃木県済生会宇都宮病院	北里大学病院	関西医科大学附属滝井病院	雪ノ聖母会聖マリア病院
群馬大学医学部附属病院	横須賀市立うわまち病院	大阪市立大学医学部附属病院	福岡和白病院
前橋赤十字病院	横須賀共済病院	大阪府立急性期・総合医療センター	福岡赤十字病院
高崎総合医療センター	横浜市立みなと赤十字病院	国立病院機構大阪医療センター	佐賀県立病院好生館
さいたま赤十字病院	湘南鎌倉総合病院	大阪府立中河内救命救急センター	佐賀大学医学部附属病院
川口市立医療センター	横浜市立市民病院	神戸大学医学部附属病院	荒尾市民病院
獨協医科大学越谷病院	小田原市立病院	兵庫県災害医療センター	熊本赤十字病院
防衛医科大学校病院	新潟市民病院	公立豊岡病院但馬救命救急センター	熊本医療センター
埼玉医科大学総合医療センター	金沢大学附属病院	公立村岡病院	社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院
埼玉医科大学国際医療センター	富山県立中央病院	関西労災病院	長崎大学病院
久喜総合病院	富山大学附属病院	兵庫県立西宮病院	国立病院機構長崎医療センター
船橋市立医療センター	厚生連高岡病院	兵庫県立加古川医療センター	大分大学医学部附属病院
国保旭中央病院	市立砺波総合病院	兵庫県立淡路病院	県立宮崎病院
日本医科大学千葉北総病院	福井県立病院	兵庫医科大学病院	宮崎大学医学部附属病院
千葉県救急医療センター	山梨県立中央病院	奈良県立奈良病院	宮崎善仁会病院
亀田総合病院	佐久総合病院	奈良県立医科大学	都城市郡医師会病院
国保直営総合病院君津中央病院	信州大学医学部附属病院	三重大学医学部附属病院	愛心会大隅鹿屋病院
順天堂大学浦安病院	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院	和歌山県立医科大学附属病院	鹿児島市立病院
千葉大学医学部附属病院	諏訪赤十字病院	津山中央病院	沖縄県立中部病院
昭和大学病院	飯田市立病院	川崎医科大学附属病院	浦添総合病院
都立広尾病院	JA岐阜厚生連中濃病院	岡山大学病院	敬愛会中頭病院
武蔵野赤十字病院	岐阜大学医学部附属病院	県立広島病院	沖縄県立北部病院
東京医科大学	高山赤十字病院	中国労災病院	琉球大学医学部附属病院
帝京大学病院	大垣市民病院	広島大学病院	
国立国際医療研究センター	沼津市立病院	国立病院機構呉医療センター中国がんセンター	
東京女子医科大学東医療センター	静岡赤十字病院	福山市民病院	
国立病院機構災害医療センター	聖隷三方ヶ原病院	山口大学医学部附属病院	

施設数

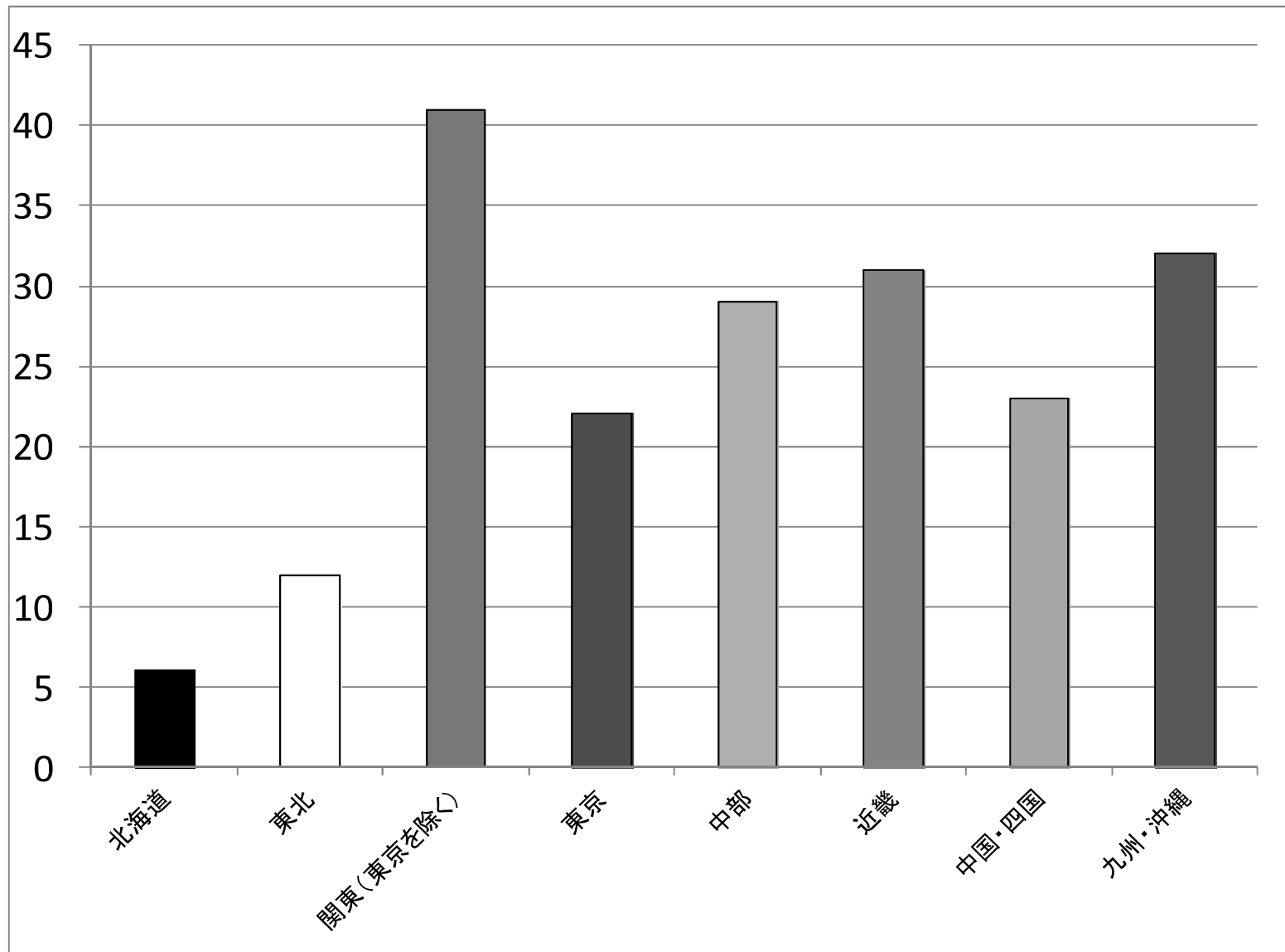


図2 地方別の参加施設数

患者数

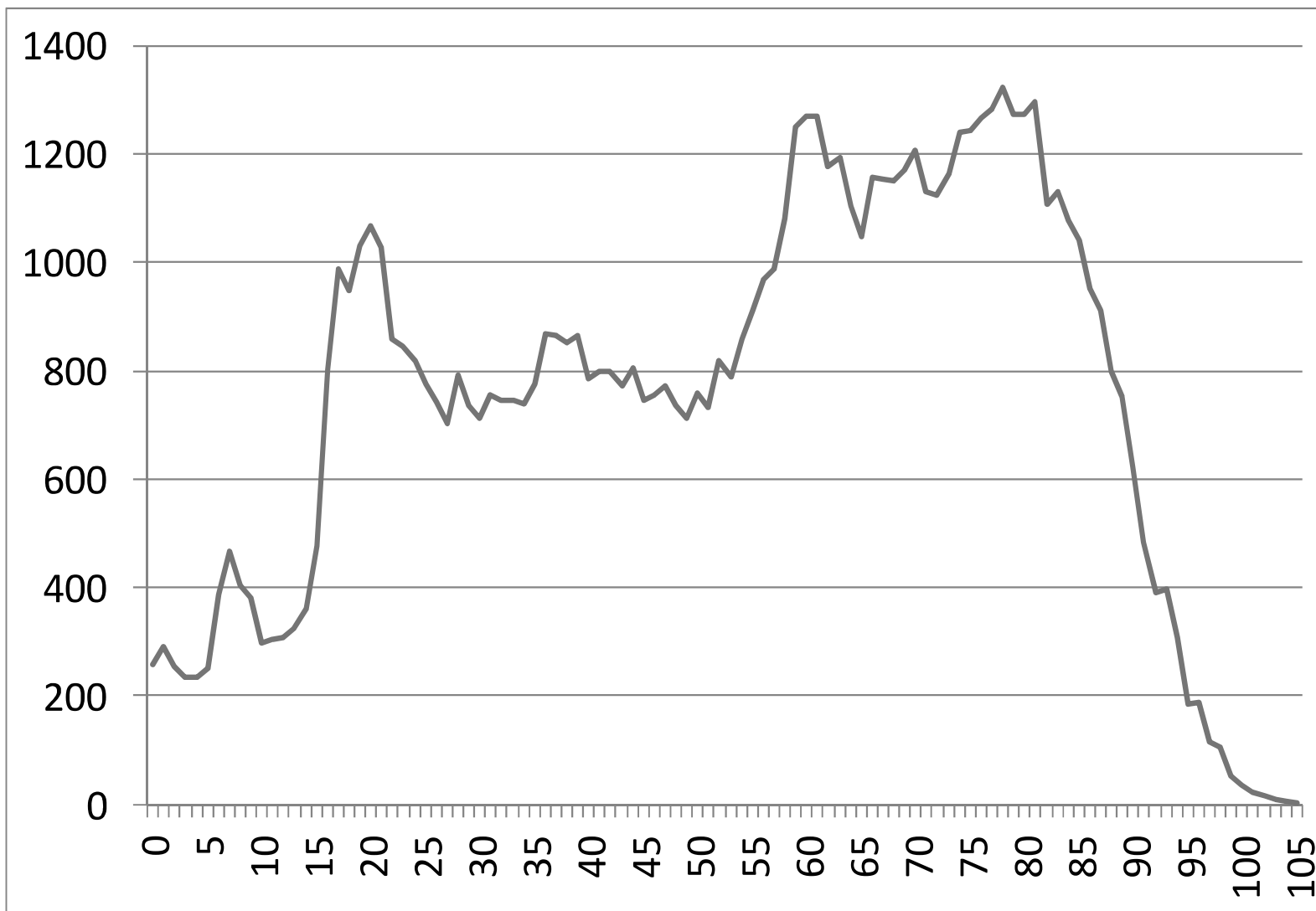


図3 全症例年齢分布

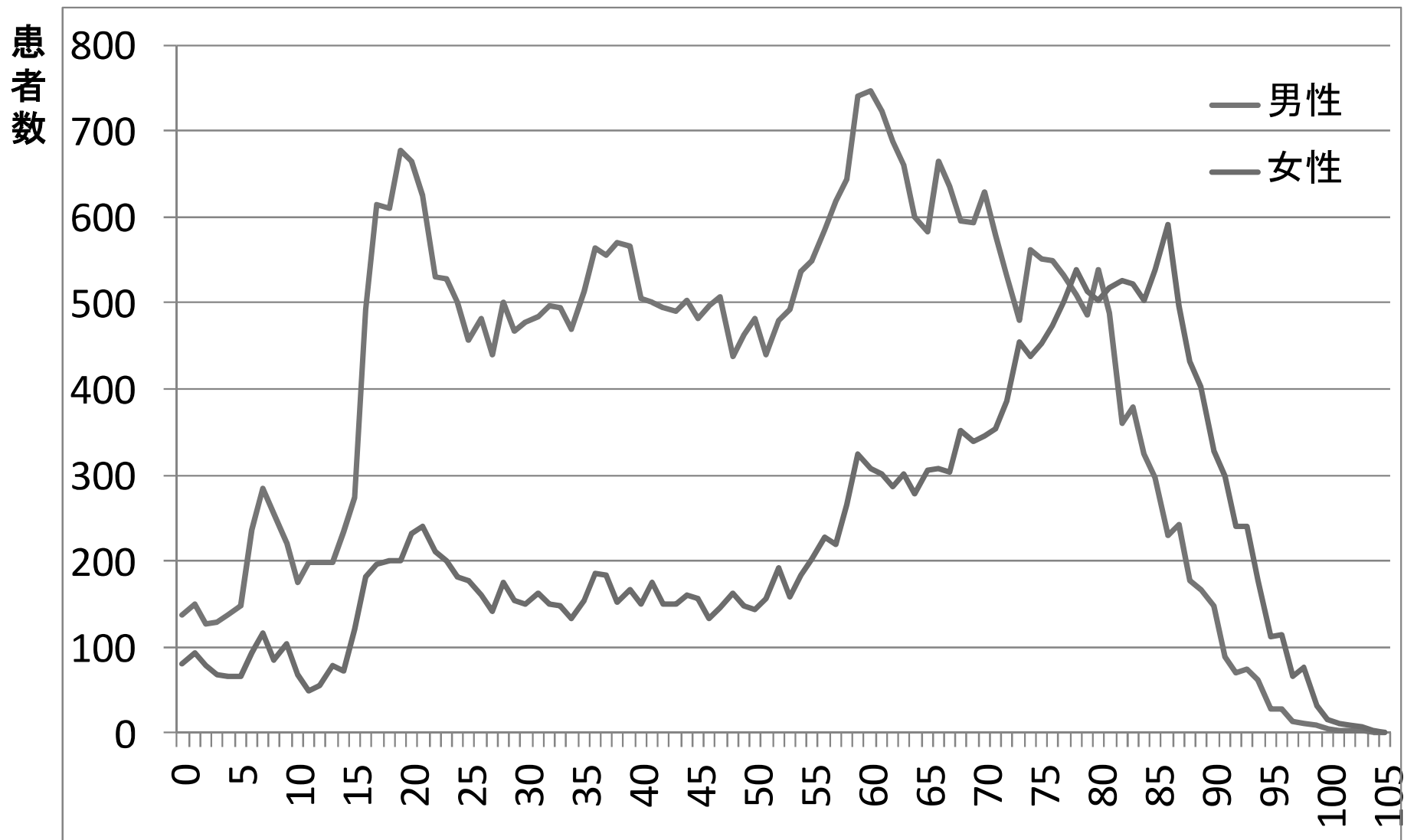


图4 性別年齢分布

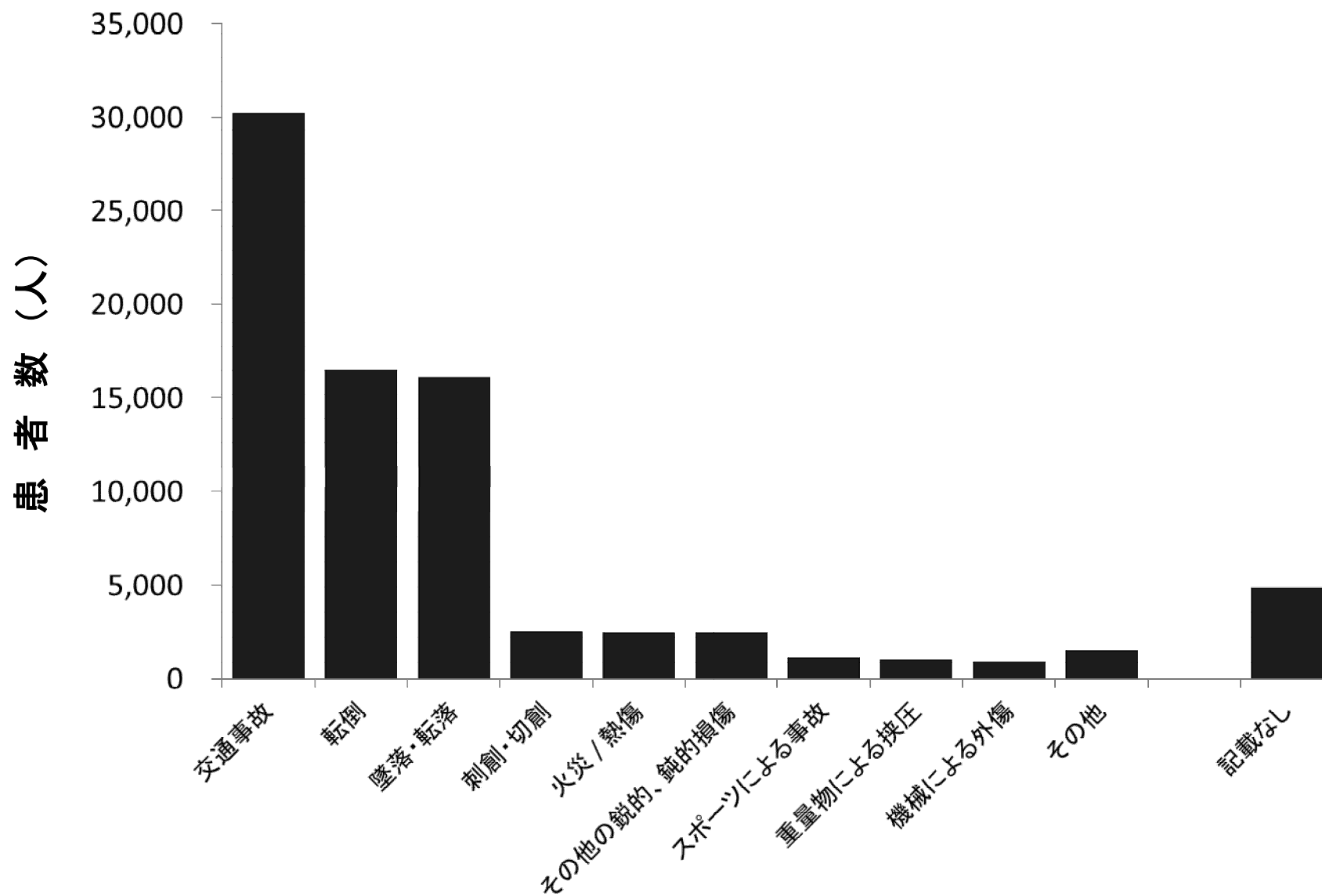


図5 受傷機転別の患者数

受傷機転	患者数 (人)	受傷機転別患者数 の割合(%)
交通事故	30219	38.0
転倒	16534	20.8
墜落・転落	16065	20.2
刺創・切創	2491	3.1
火災 / 熱傷	2466	3.1
その他の鋭的、鈍的損傷	2441	3.1
スポーツによる事故	1120	1.4
重量物による挟圧	987	1.2
機械による外傷	916	1.2
その他の車両事故	707	0.9
落下物、飛来物	656	0.8
杵創(刺杭創)	75	0.1
銃創	44	0.1
記載なし(na)	4855	6.1
計	79576	100.0

表5 受傷機転別の患者数の割合

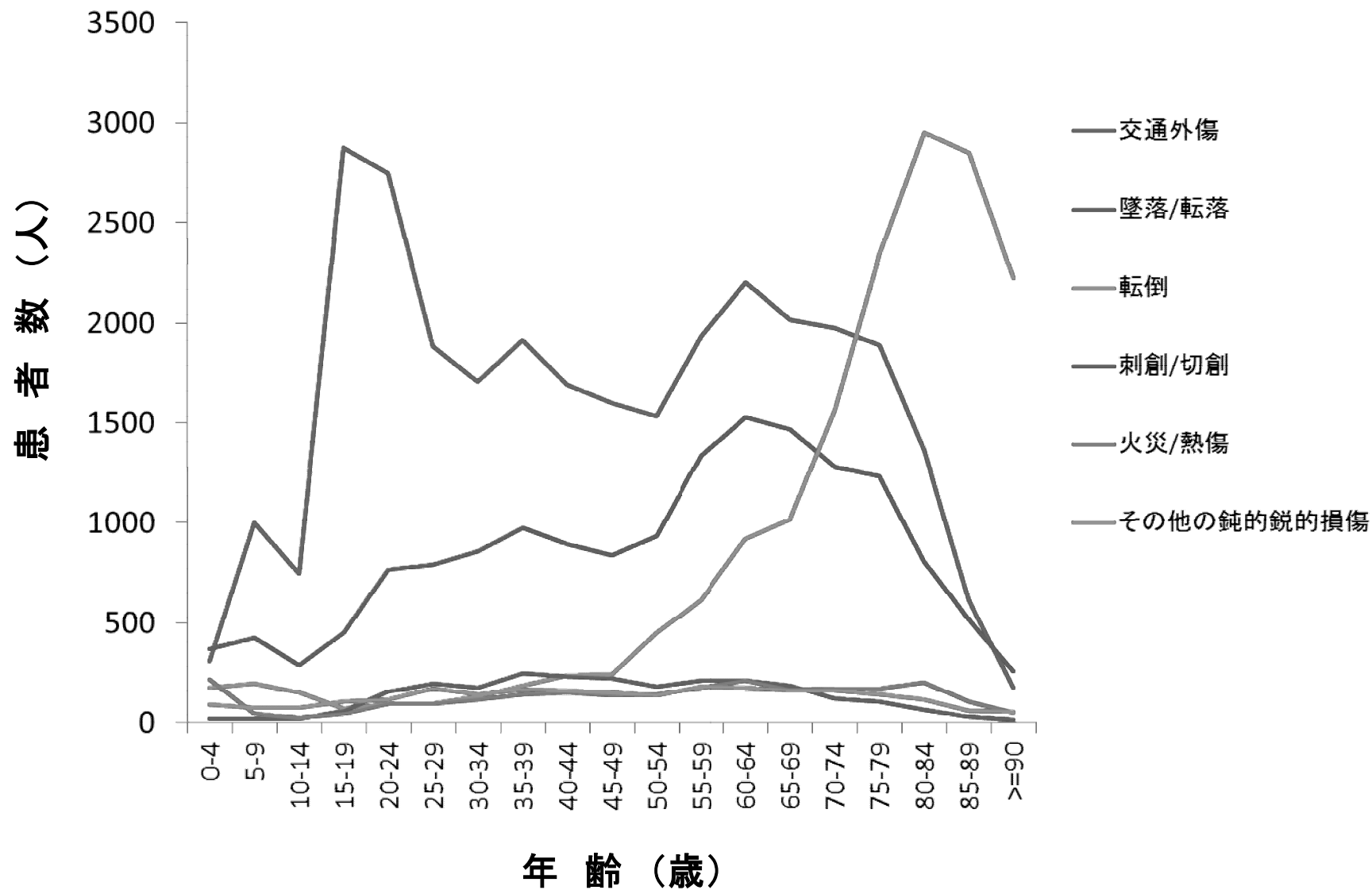


図6 受傷機転別患者数の年齢分布

Japan Trauma Data Bank Report 2007-2011

年齢範囲 (歳)	交通外傷 (人)	交通外傷の 年齢層別割 合(%)	墜落/転落 (人)	墜落/転落 の年齢層別 割合(%)	転倒(人)	転倒患者の 年齢層別割 合(%)	刺創/切創 (人)	刺創/切創 の年齢層別 割合(%)	火災/熱傷 (人)	火災/熱傷 の年齢層別 割合(%)	その他の鈍 的鋭的損傷 (人)	その他の鈍 的鋭的損傷 の年齢層別 割合(%)
0-4	307	1.02	369	2.30	175	1.06	19	0.76	215	8.72	89	3.65
5-9	1000	3.31	425	2.65	195	1.18	18	0.72	43	1.74	75	3.07
10-14	747	2.47	290	1.81	153	0.93	21	0.84	22	0.89	73	2.99
15-19	2875	9.51	452	2.81	70	0.42	61	2.45	43	1.74	108	4.42
20-24	2749	9.10	766	4.77	98	0.59	155	6.22	94	3.81	114	4.67
25-29	1884	6.23	794	4.94	96	0.58	199	7.99	98	3.97	172	7.05
30-34	1704	5.64	858	5.34	133	0.80	179	7.19	116	4.70	143	5.86
35-39	1916	6.34	975	6.07	189	1.14	249	10.00	143	5.80	167	6.84
40-44	1692	5.60	891	5.55	238	1.44	235	9.43	149	6.04	163	6.68
45-49	1597	5.28	836	5.20	243	1.47	221	8.87	137	5.56	152	6.23
50-54	1532	5.07	935	5.82	452	2.73	183	7.35	140	5.68	135	5.53
55-59	1933	6.40	1337	8.32	615	3.72	213	8.55	178	7.22	180	7.37
60-64	2206	7.30	1526	9.50	918	5.55	211	8.47	211	8.56	176	7.21
65-69	2015	6.67	1468	9.14	1015	6.14	185	7.43	168	6.81	160	6.55
70-74	1974	6.53	1280	7.97	1565	9.47	121	4.86	171	6.93	163	6.68
75-79	1888	6.25	1235	7.69	2341	14.16	104	4.18	170	6.89	139	5.69
80-84	1360	4.50	808	5.03	2952	17.85	63	2.53	202	8.19	115	4.71
85-89	613	2.03	515	3.21	2848	17.23	29	1.16	108	4.38	58	2.38
>=90	179	0.59	256	1.59	2224	13.45	16	0.64	52	2.11	54	2.21
不明・記載なし	48	0.16	49	0.31	14	0.08	9	0.36	6	0.24	5	0.20
計	30219		16065		16534		2491		2466		2441	

表6 受傷機転別の年齢層別分布

© Japan Trauma Care and Research 2012. All Rights Reserved Worldwide

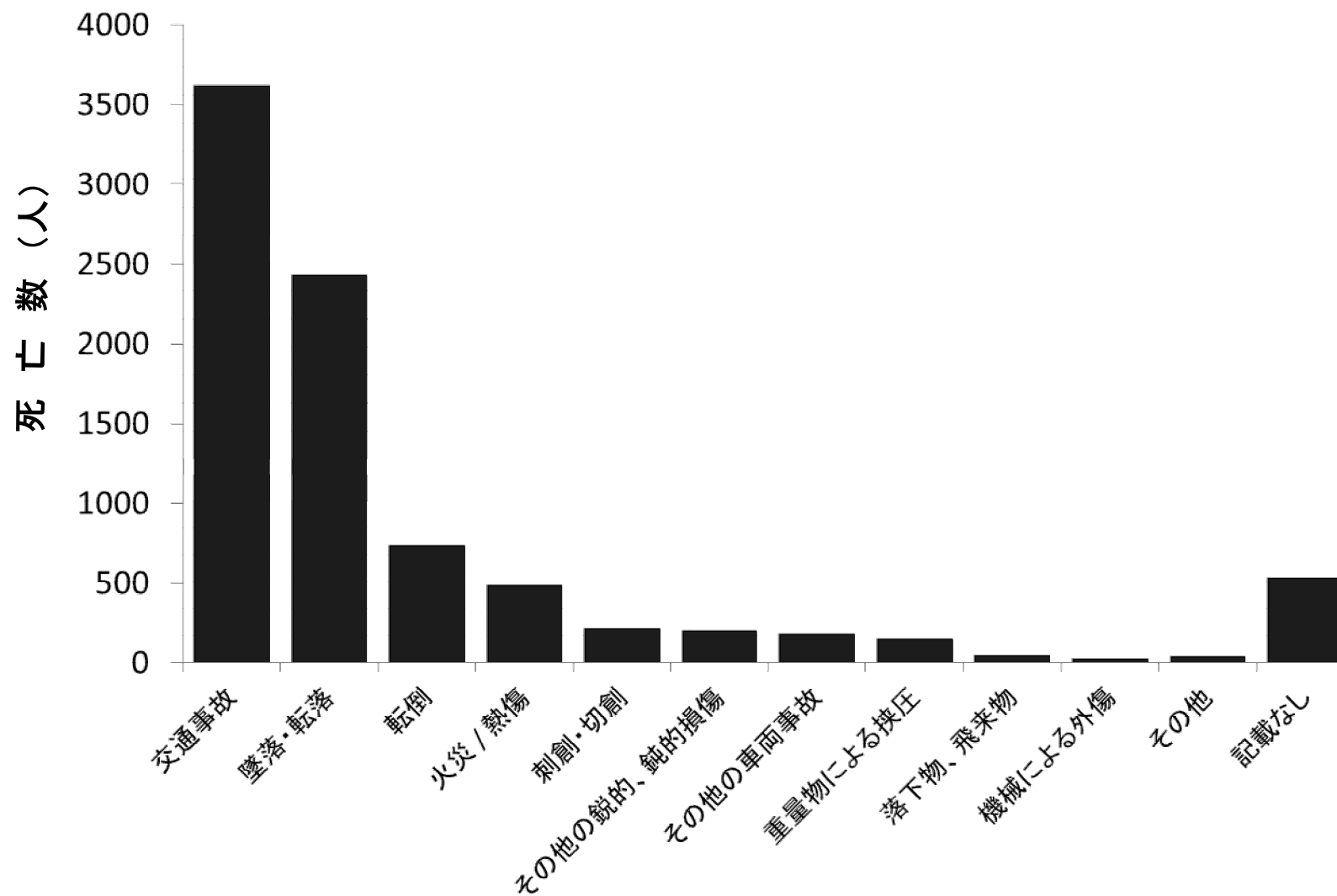


図7 受傷機転別の死亡数

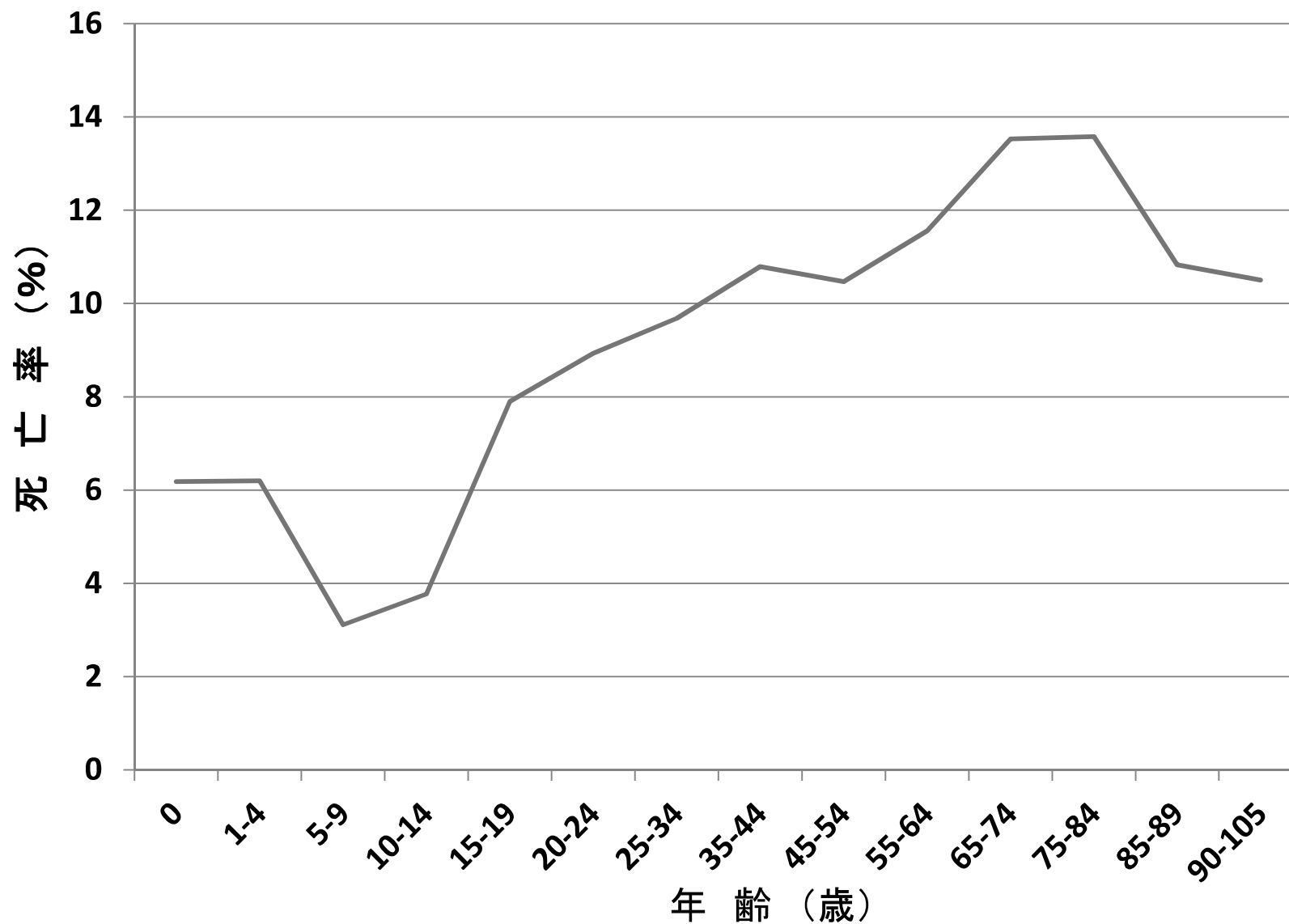


図8 年齢別の死亡率

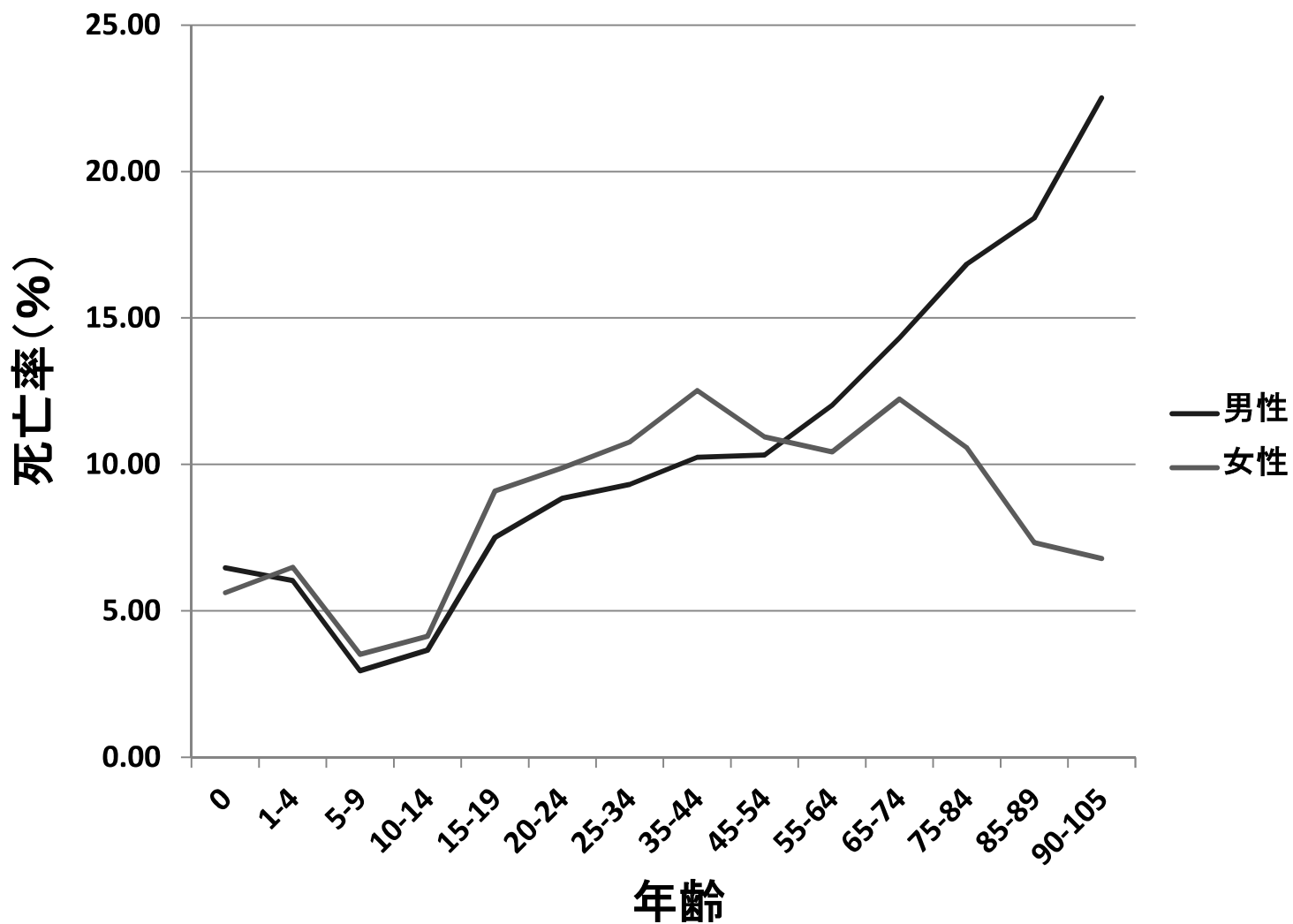


図9 性別と年齢別の患者死亡率

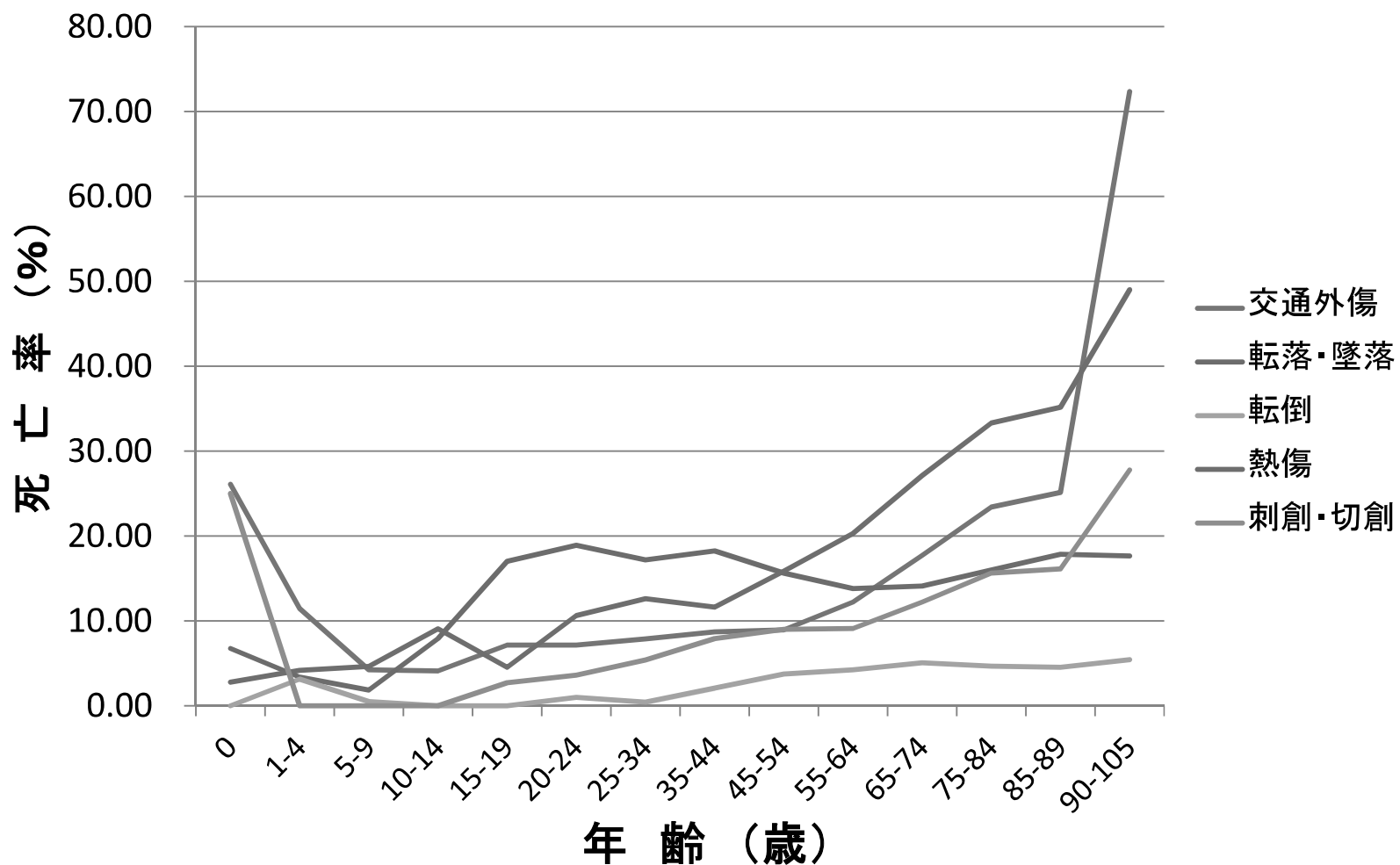
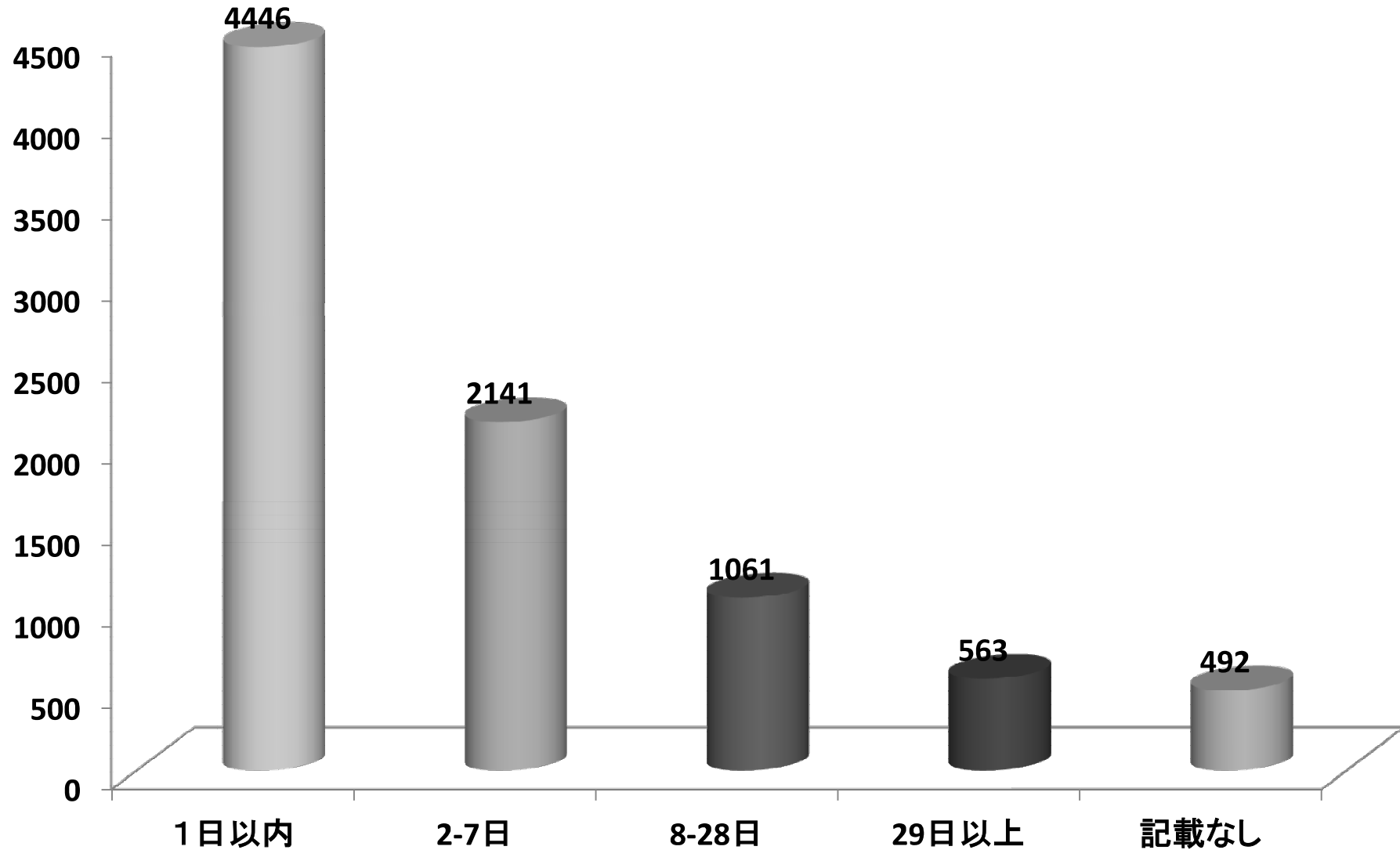


図10 受傷機転と年齢別の患者死亡率



「1日以内」には、心肺停止症例と初療室での死亡を含む。

図11A 受傷から死亡までの入院期間と症例数 n = 8,703

受傷機転

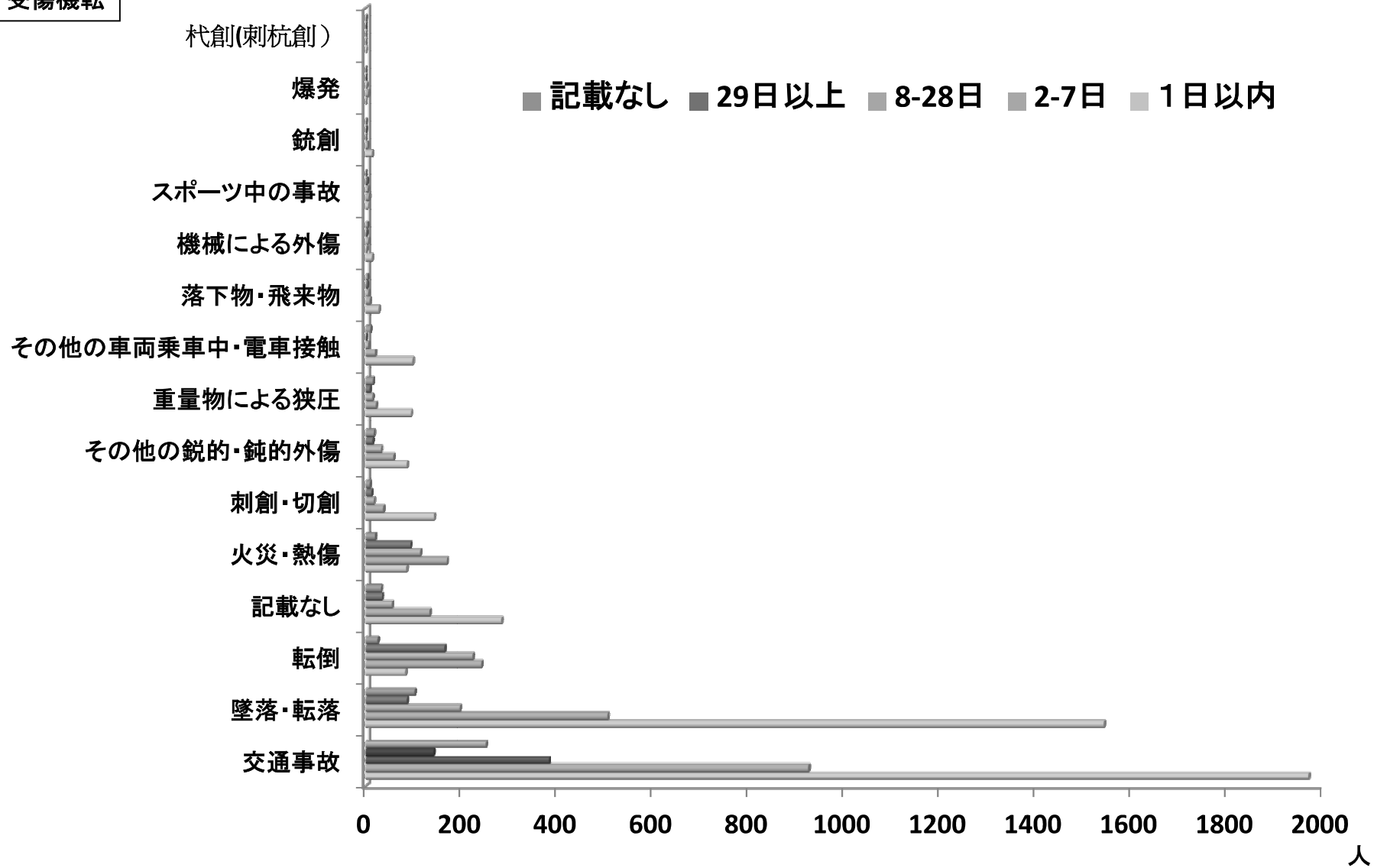


図11B 受傷機転別の「受傷から死亡までの日数」の症例分布 n = 8,703

Japan Trauma Data Bank Report 2007-2011

	交通事故	墜落・転落	転倒	記載なし	火災・熱傷	刺創・切創	その他の 鋭的・鈍的 外傷	重量物による狭 圧
1日以内	1971	1543	83	284	85	142	86	94
2-7日	926	506	242	133	169	37	58	22
8-28日	383	197	224	55	114	17	32	14
29日以上	141	86	164	34	93	12	14	9
記載なし	252	102	25	32	20	9	17	15
計	3673	2434	738	538	481	217	207	154

	その他の 車両乗車中・電 車接触	落下物 ・飛来物	機械による 外傷	スポーツ中 の事故	銃創	爆発	杵創 (刺杭創)	計
1日以内	98	27	13	6	13	0	1	4446
2-7日	20	9	2	7	4	6	0	2141
8-28日	6	6	6	5	0	2	0	1061
29日以上	1	3	2	3	1	0	0	563
記載なし	10	4	4	0	1	0	1	492
計	135	49	27	21	19	8	2	8703

表11B 受傷転機別の「受傷から死亡までの日数」の症例分布 n = 8,703

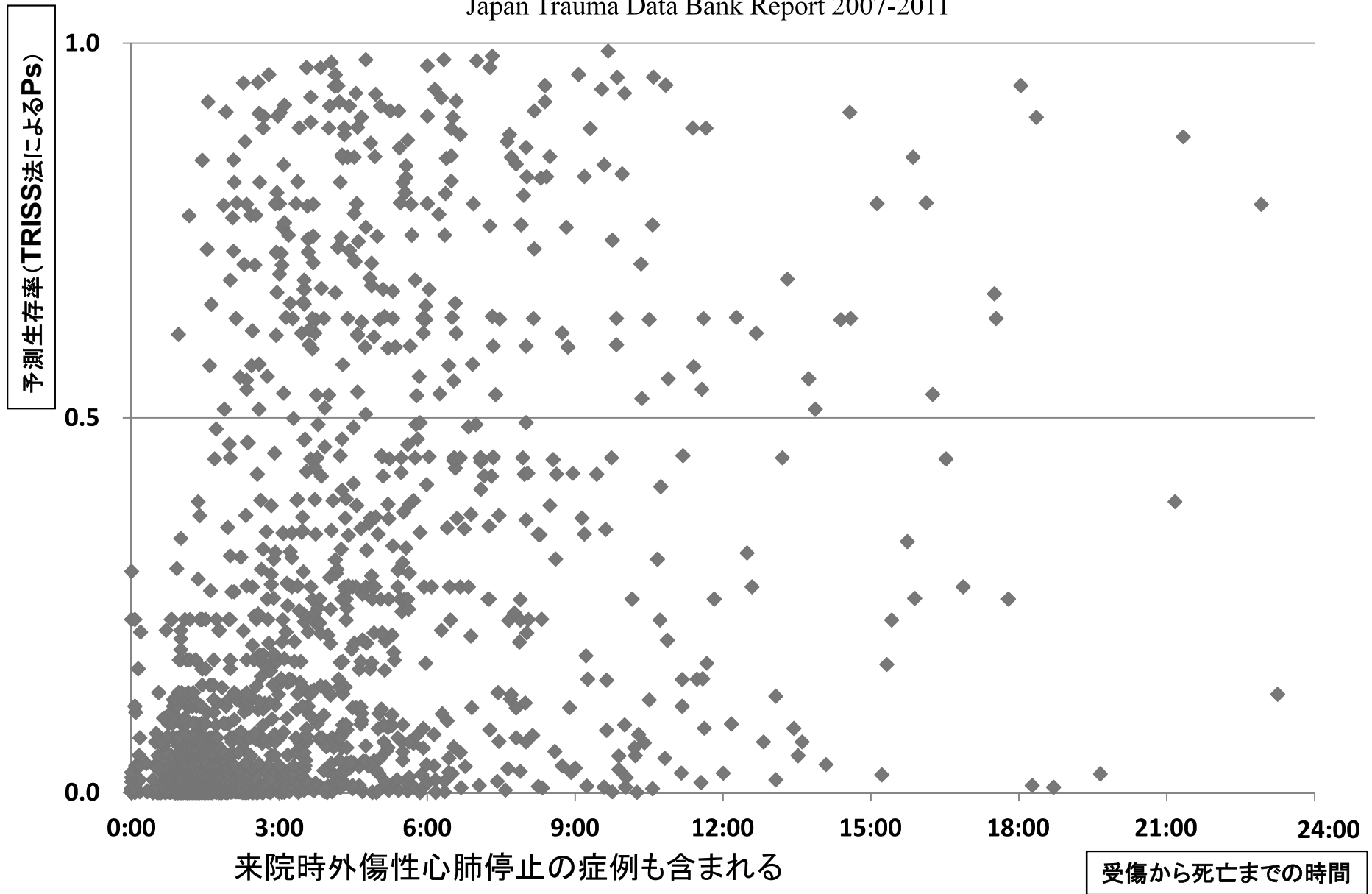
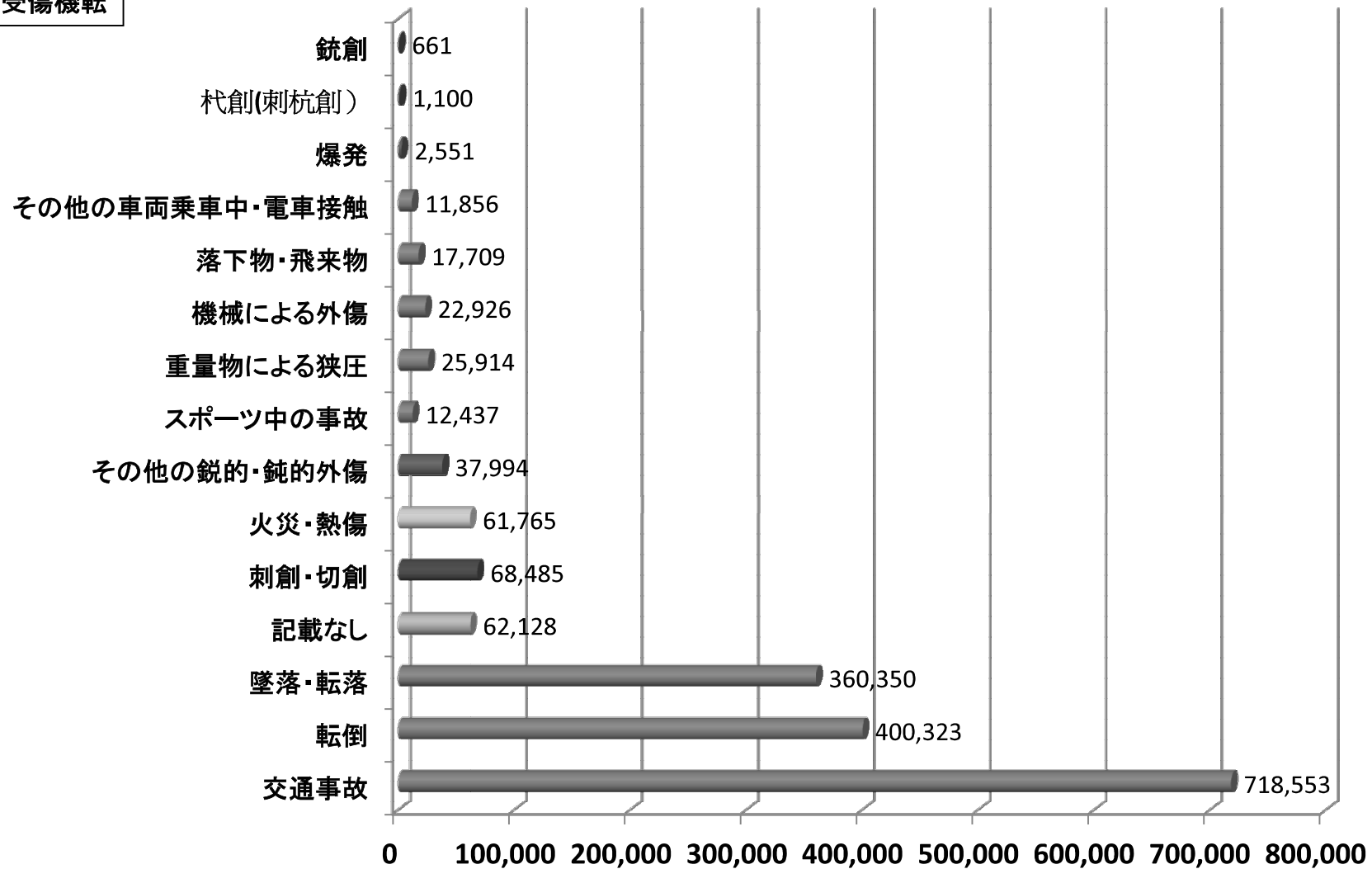


図11C 受傷から死亡までの時間と予測生存率jの関係 n = 1,804

受傷機転



症例数は67,464で、累積入院日数は1,804,752であった。

人

図12 受傷転機別の累積入院日数 n = 67,464

Japan Trauma Data Bank Report 2007-2011

	症 例 数		累積入院日数	平均入院日数
交通事故	26,343	39.05%	718,553	27.28
転倒	14,459	21.43%	400,323	27.69
墜落・転落	14,102	20.90%	360,350	25.55
記載なし	2,954	4.38%	62,128	21.03
刺創・切創	2,058	3.05%	68,485	33.28
火災・熱傷	1,993	2.95%	61,765	30.99
その他の鋭的・鈍的外傷	1,969	2.92%	37,994	19.30
スポーツ中の事故	895	1.33%	12,437	13.90
重量物による狭圧	855	1.27%	25,914	30.31
機械による外傷	738	1.09%	22,926	31.07
落下物・飛来物	562	0.83%	17,709	31.51
その他の車両乗車中・電車接触	329	0.49%	11,856	36.04
爆発	111	0.16%	2,551	22.98
杵創(刺杭創)	65	0.10%	1,100	16.92
銃創	31	0.05%	661	21.32
計	67,464		1,804,752	26.75

表12 受傷機転別の症例数、累積入院日数、平均入院日数 n = 67,464

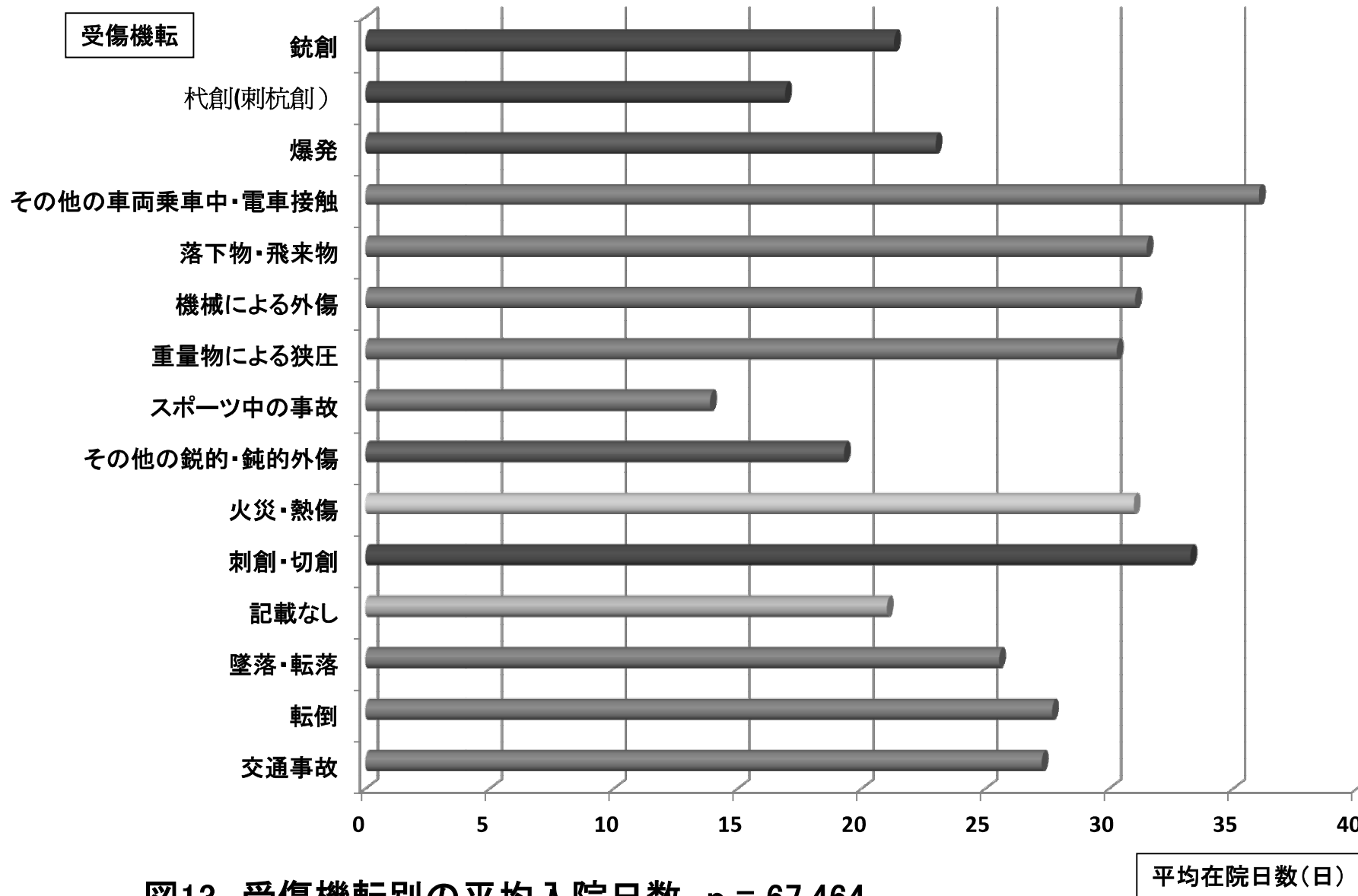


図13 受傷機転別の平均入院日数 n = 67,464

N = 79576

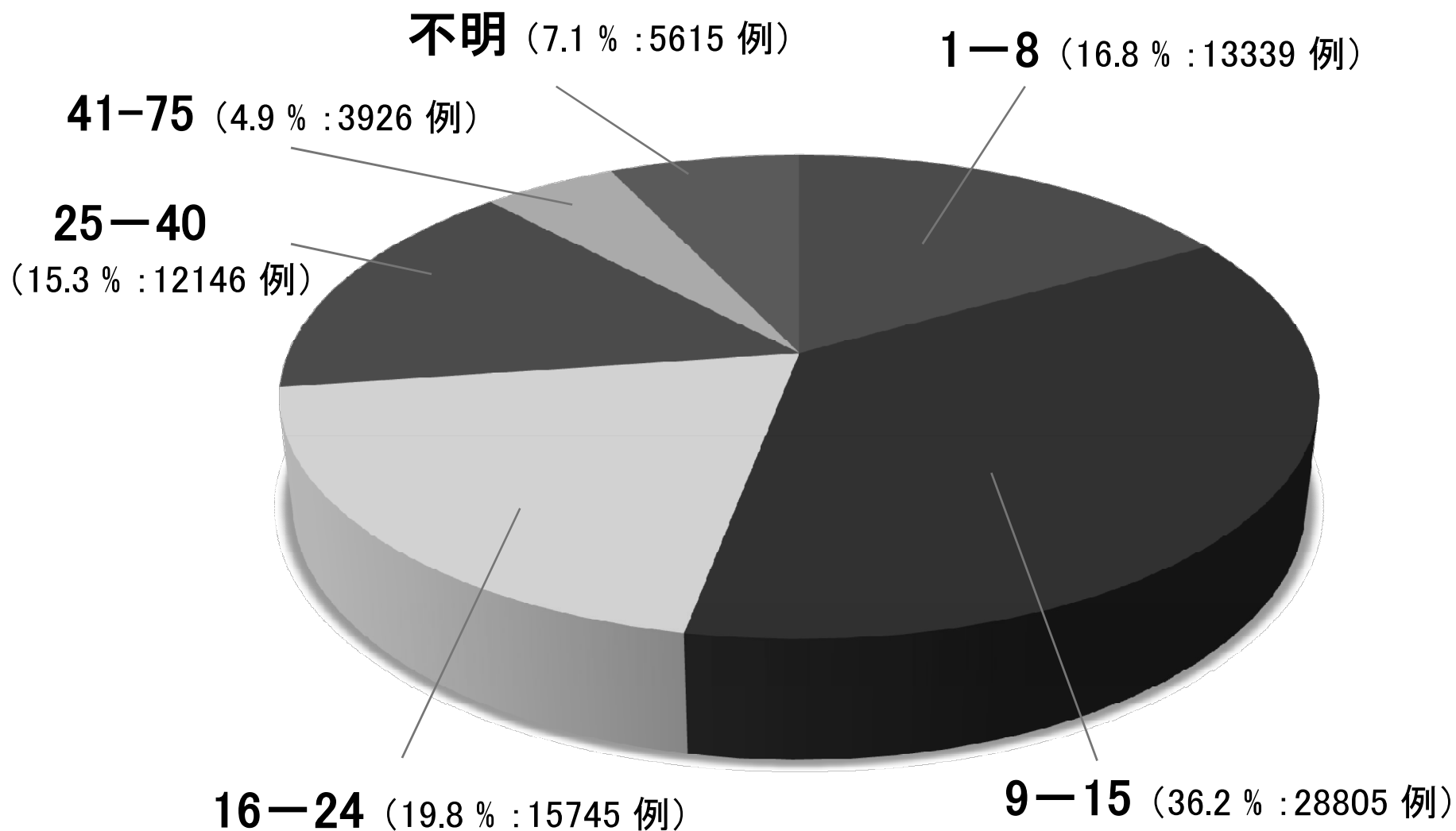


図14 ISSカテゴリー別の症例数と割合

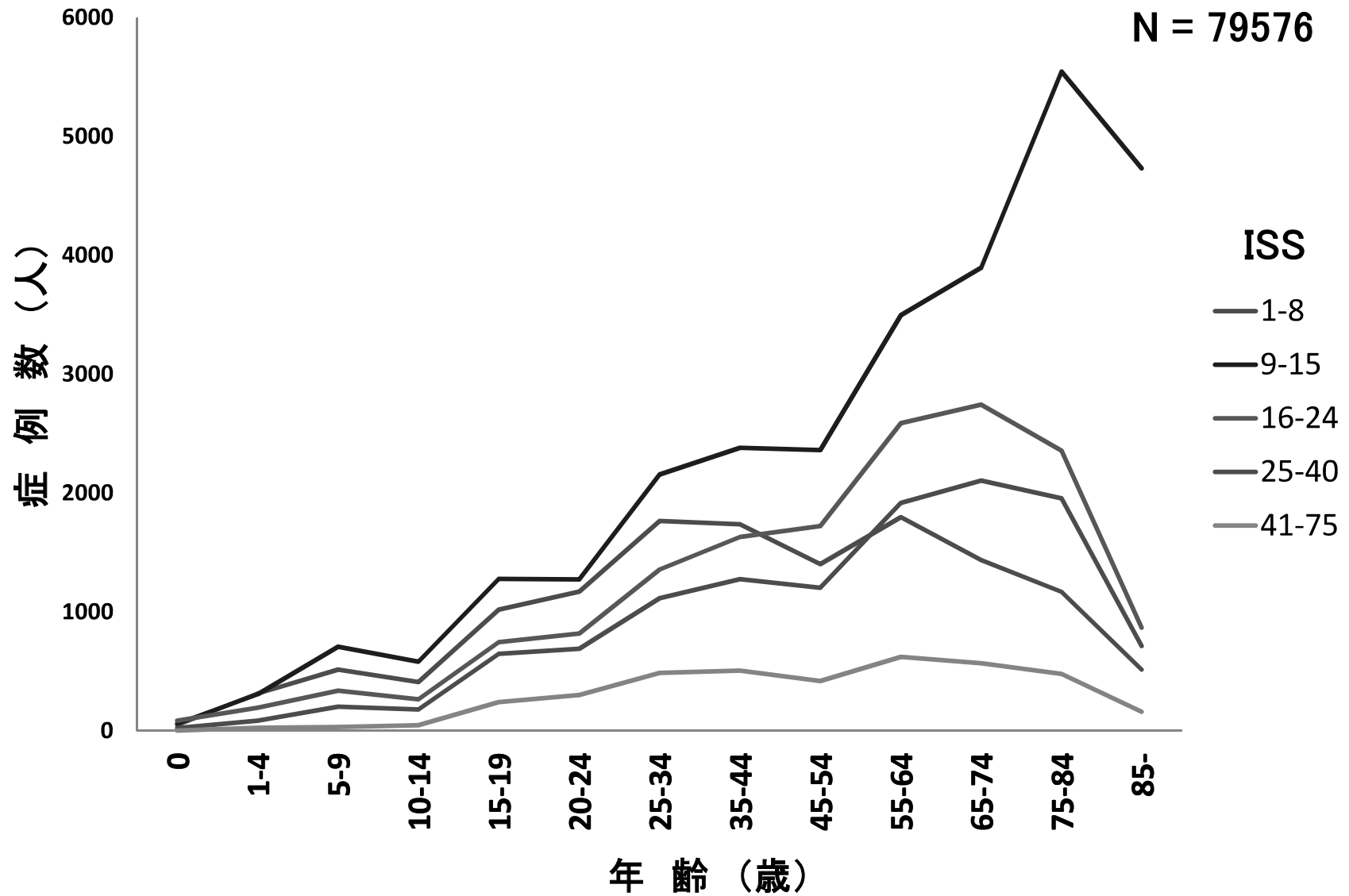


図15 ISSカテゴリー別の症例数の年齢分布

ISS \ 年齢	0	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-34	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84	85-	不明	計
1-8	50	314	515	411	1019	1171	1766	1738	1403	1798	1437	1169	515	33	13339
9-15	60	308	708	581	1278	1275	2157	2382	2362	3496	3897	5546	4731	24	28805
16-24	86	195	338	266	747	820	1357	1631	1723	2588	2744	2357	869	24	15745
25-40	24	86	203	180	648	690	1117	1276	1203	1918	2105	1955	715	26	12146
41-75	3	27	33	47	242	302	488	508	420	623	570	480	161	22	3926
不明	36	87	98	105	282	360	559	653	577	791	790	764	395	118	5615
計	259	1017	1895	1590	4216	4618	7444	8188	7688	11214	11543	12271	7386	247	79576

表15 ISSカテゴリー別の症例数の年齢分布

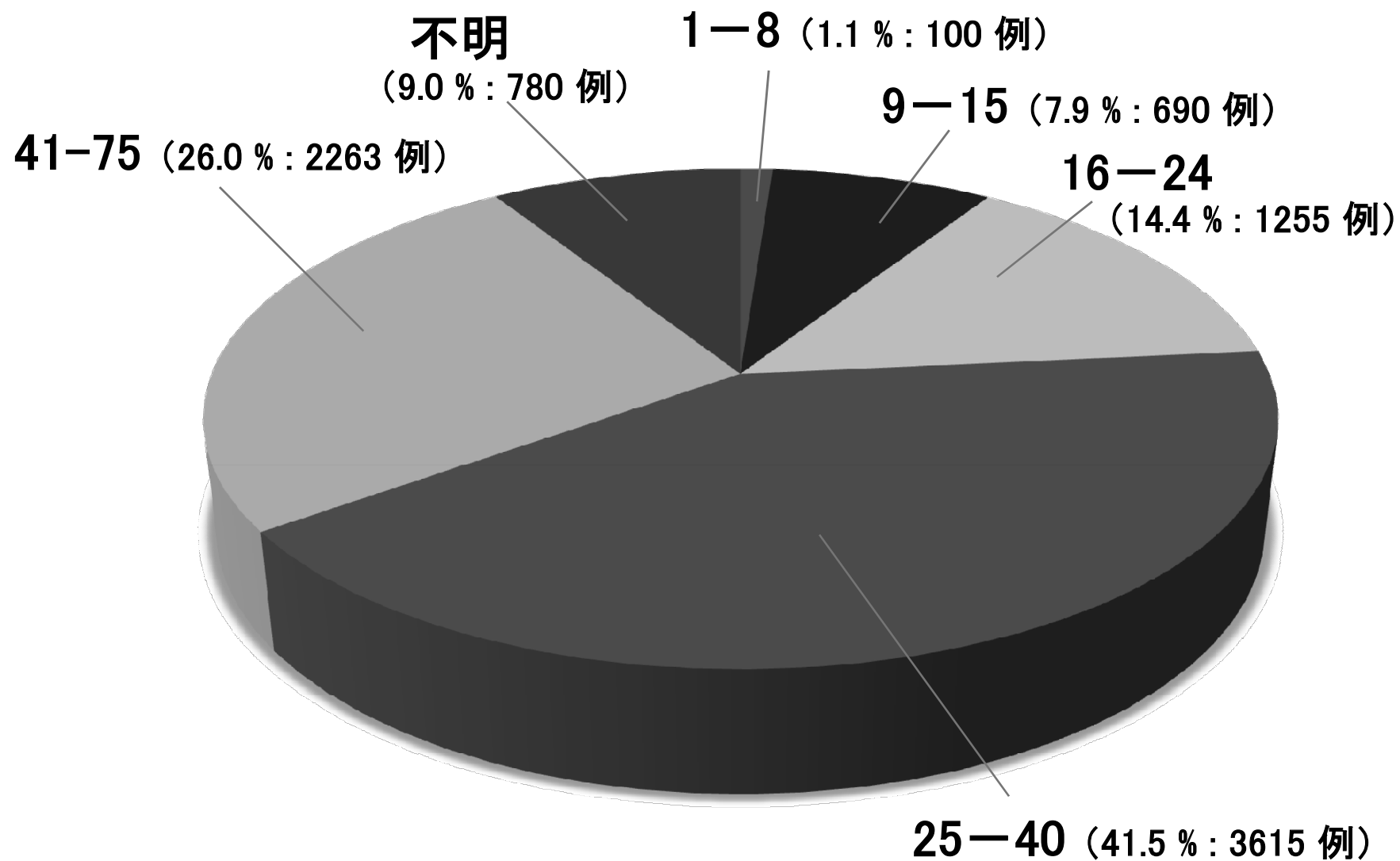


図16A ISSカテゴリー別の死亡数の割合

N = 8703

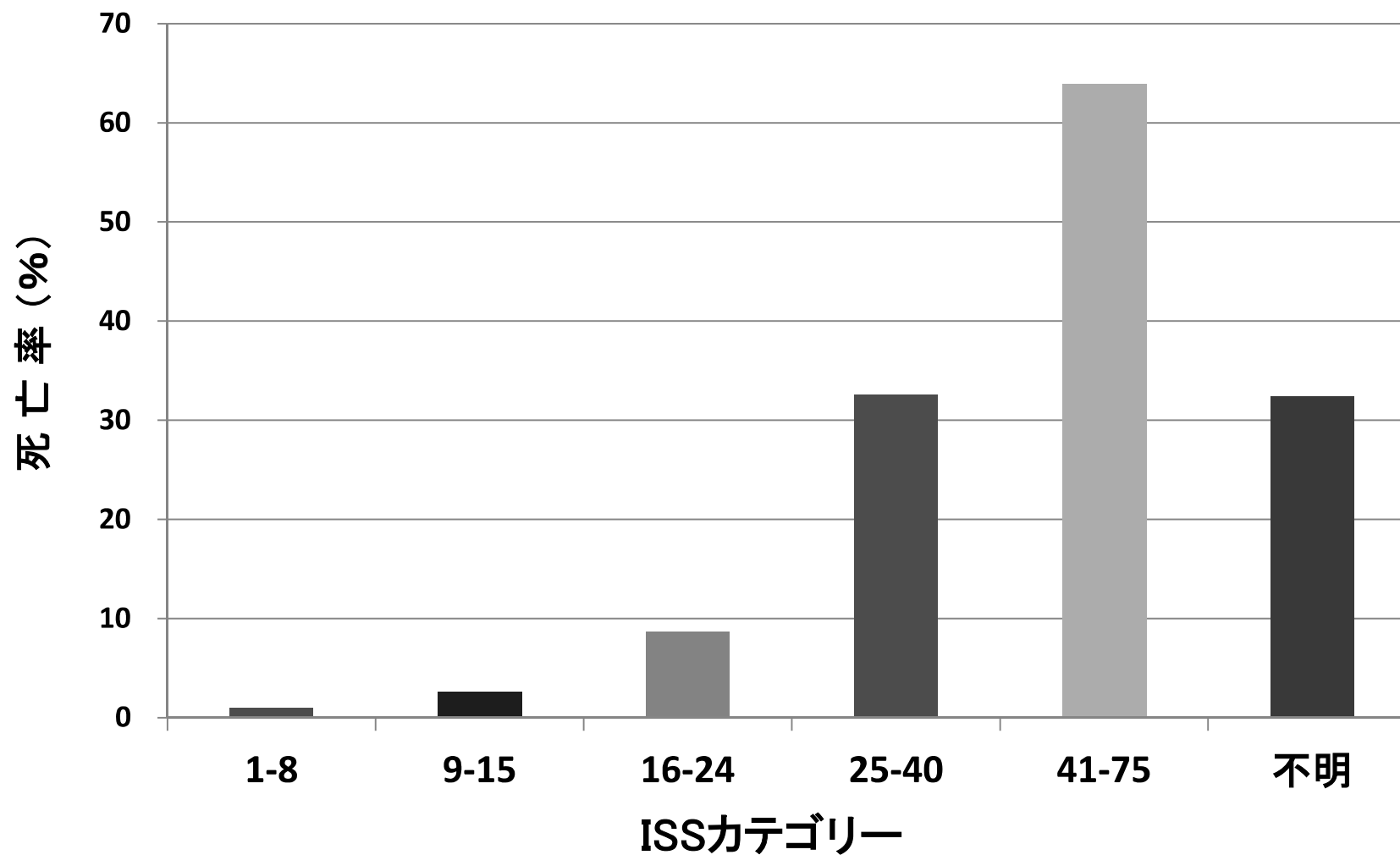


図16B ISSカテゴリー別の死亡率

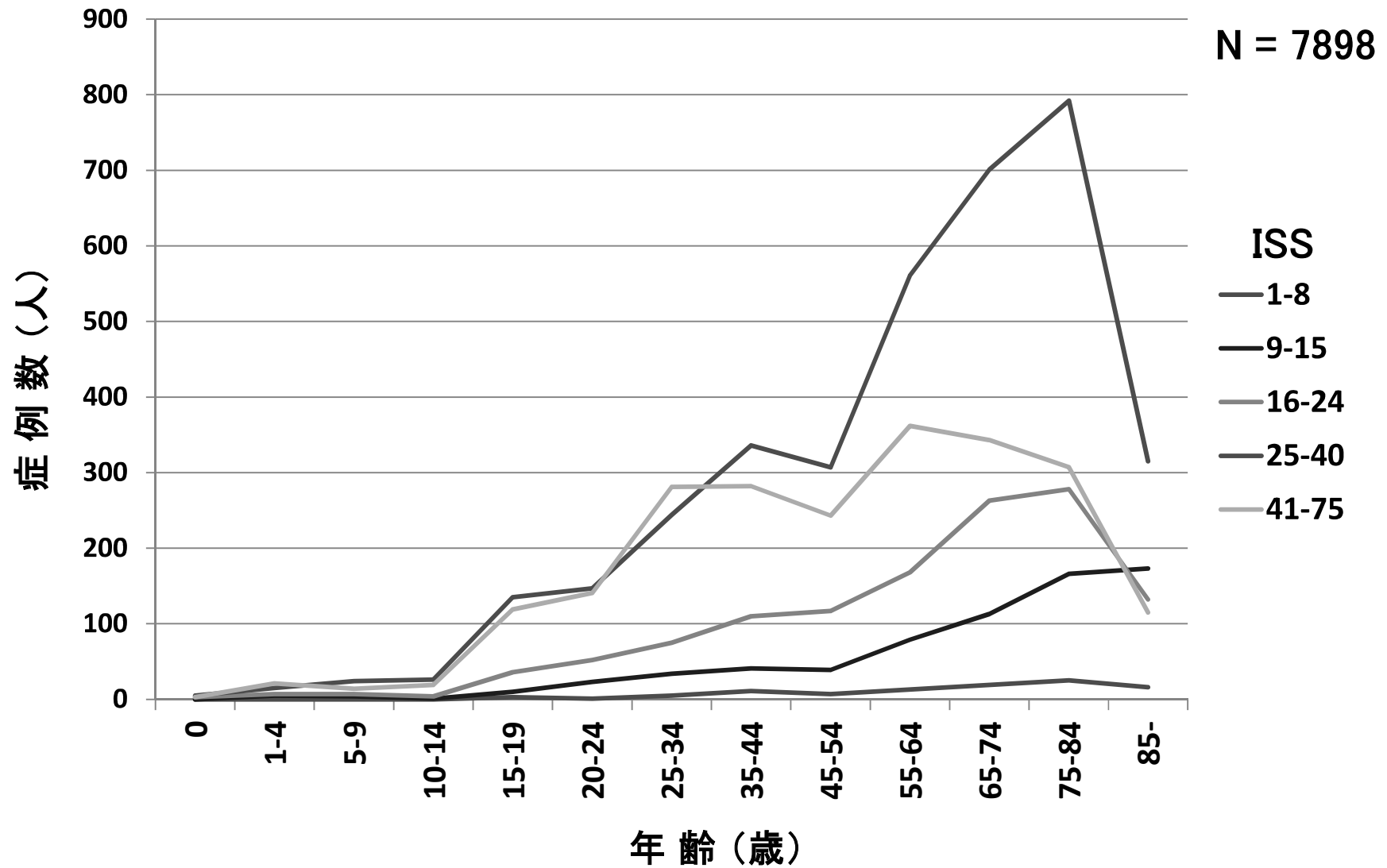


図17 ISSカテゴリー別死亡数の年齢分布

年齢 ISS	0	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-34	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84	85-	不明	計
1-8	0	0	0	0	3	1	5	11	7	13	19	25	16	0	100
9-15	0	5	4	1	10	23	34	41	39	79	113	166	173	2	690
16-24	3	7	7	4	36	52	75	110	117	168	263	278	132	3	1255
25-40	5	15	24	26	135	147	244	336	307	561	701	792	315	7	3615
41-75	3	21	14	19	119	141	281	282	243	362	343	307	115	13	2263
不明	5	15	10	10	30	57	81	103	92	113	122	98	39	5	780
計	16	63	59	60	333	421	720	883	805	1296	1561	1666	790	30	8703

表17 ISSカテゴリー別死亡数の年齢分布

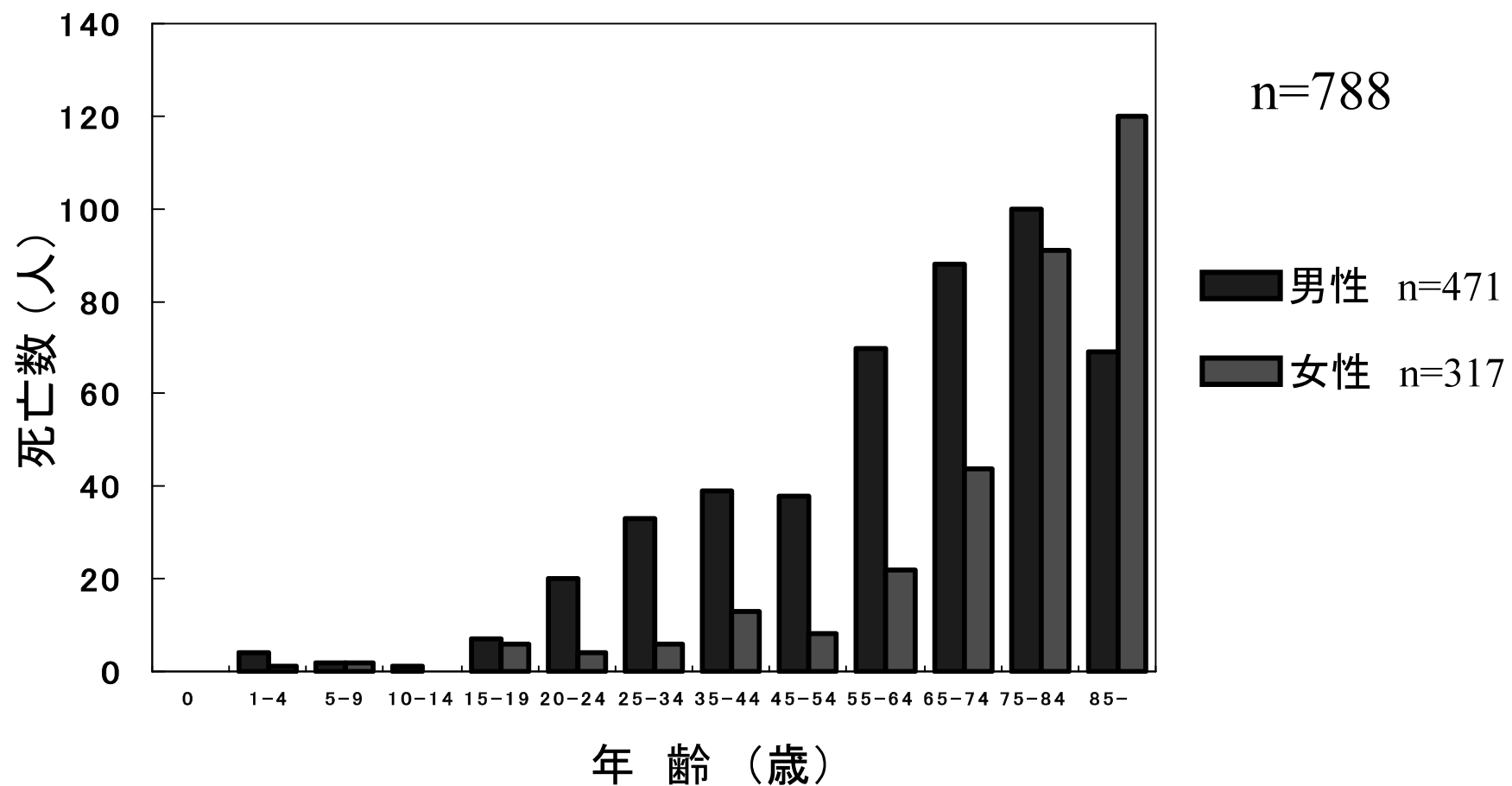


図18 ISS 15以下の死亡数の性別年齢分布

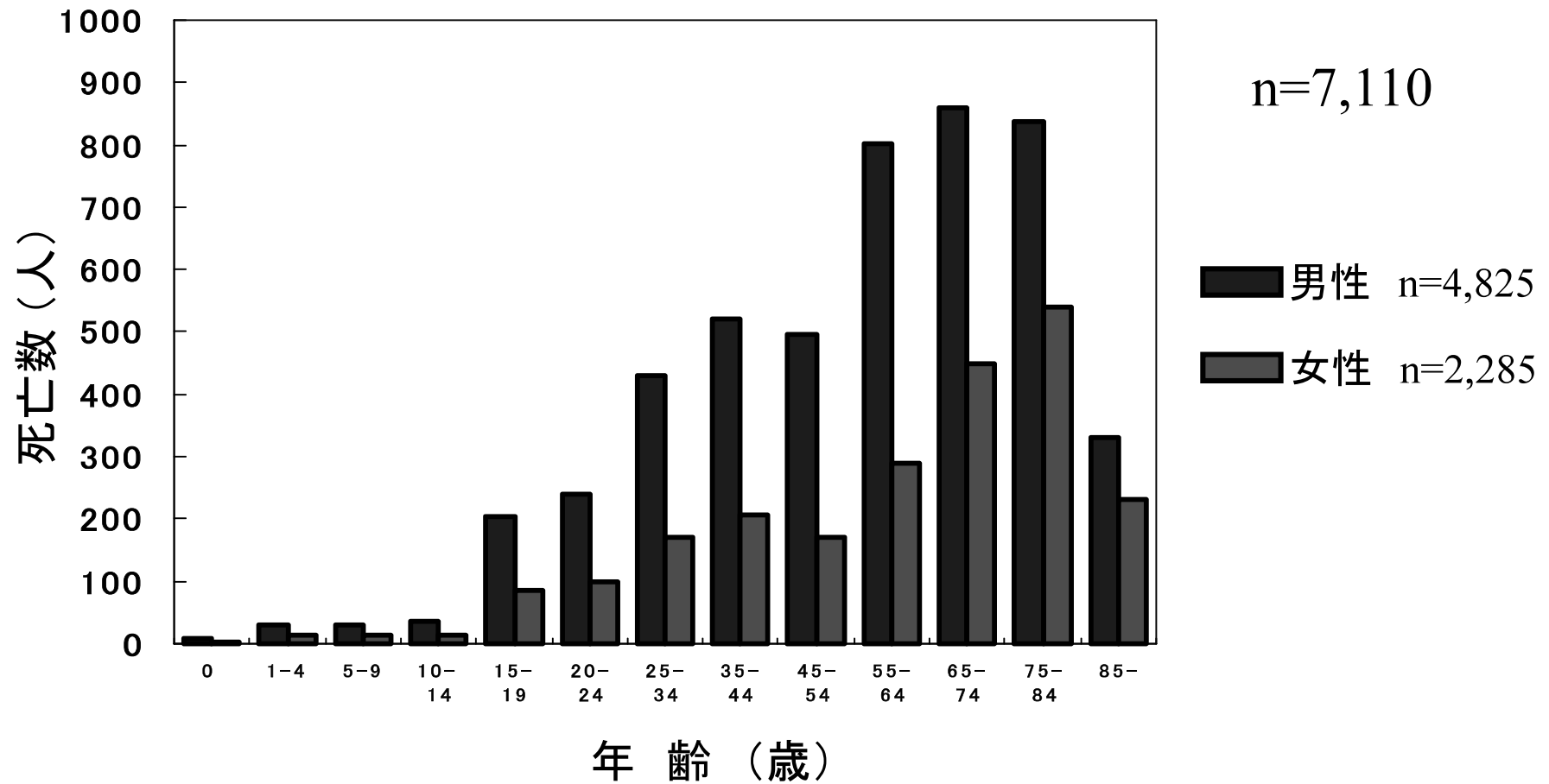


図19 ISS 16以上の死亡数の性別年齢分布

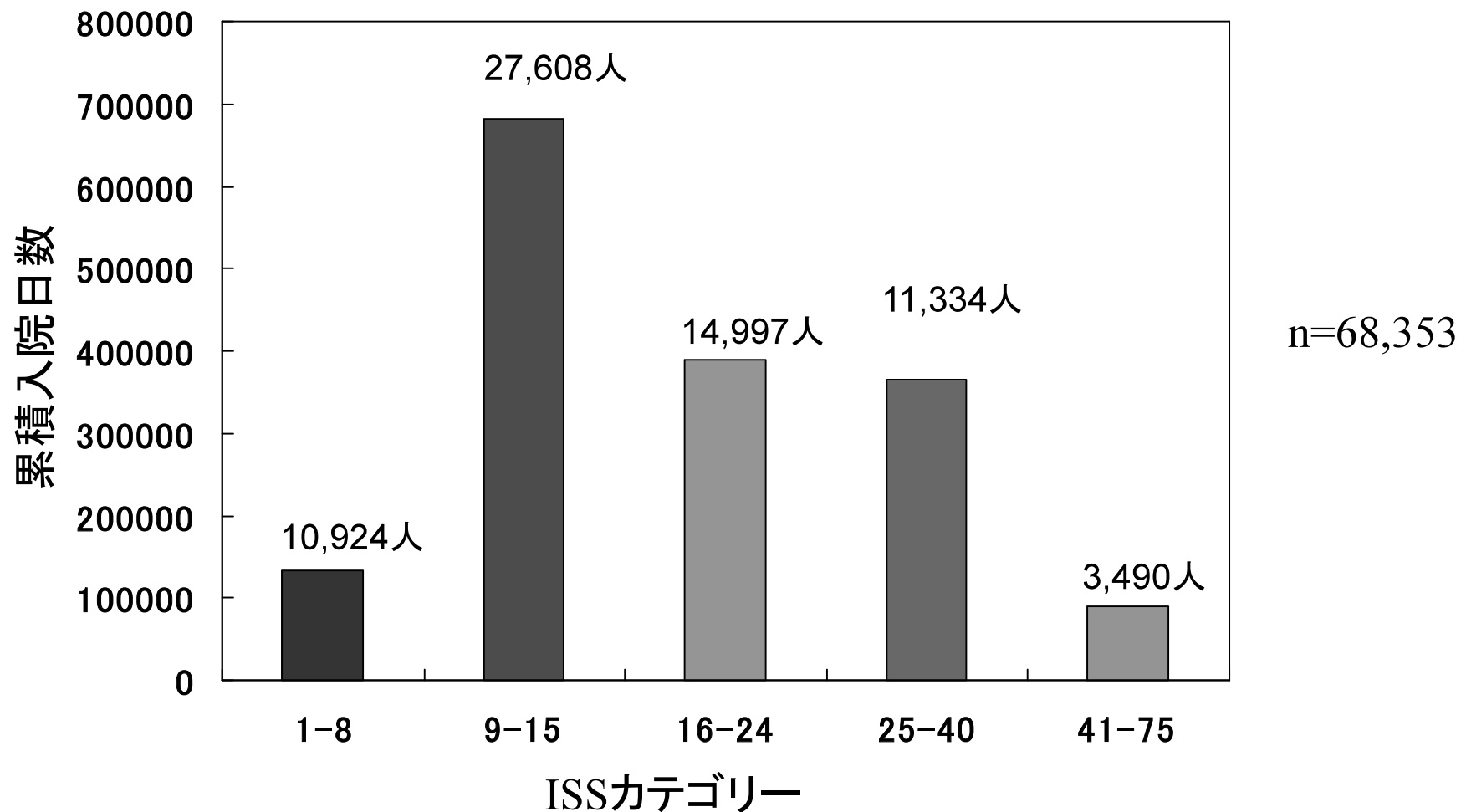


図20A ISS カテゴリー別の累積入院日数

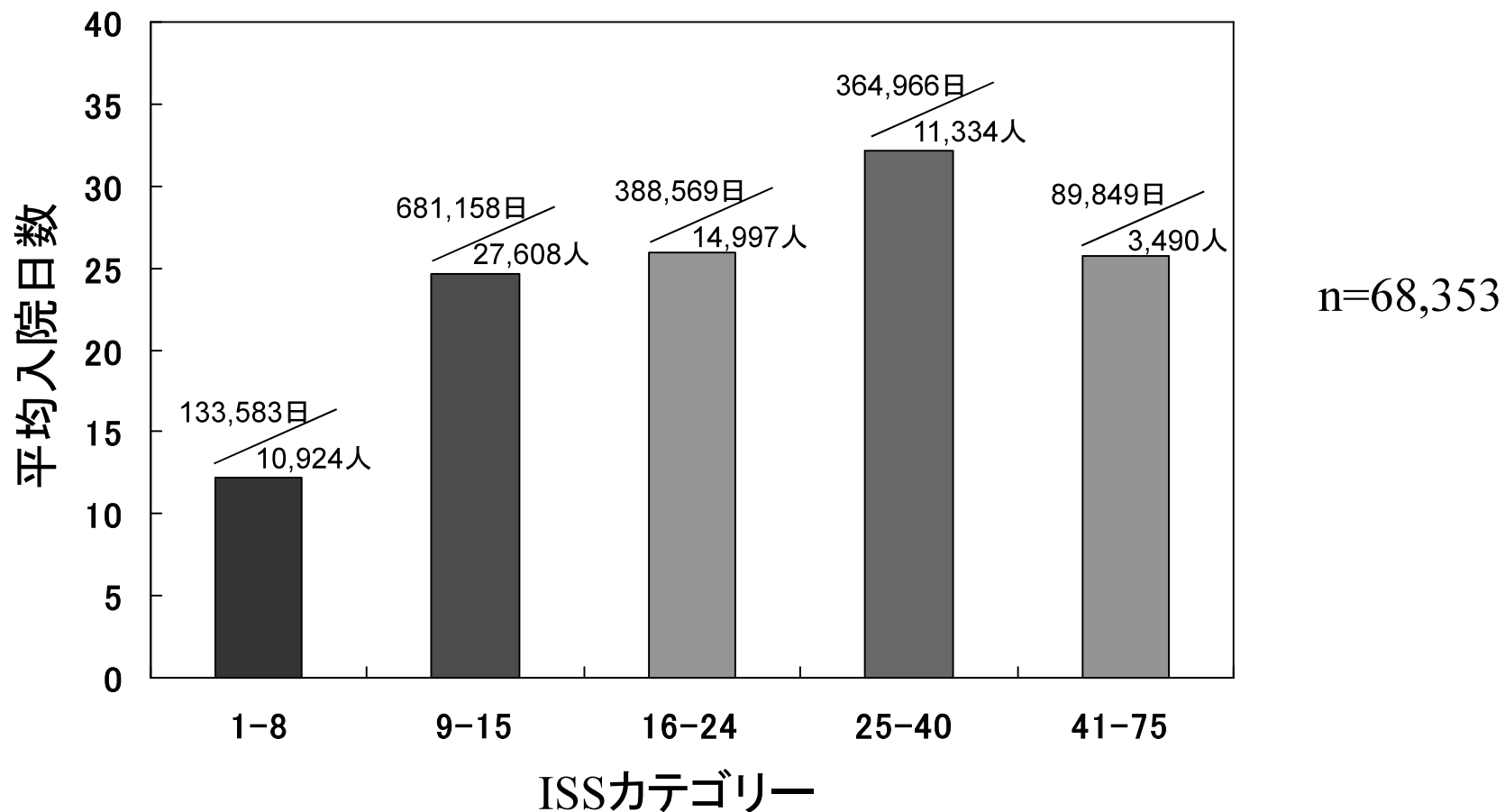
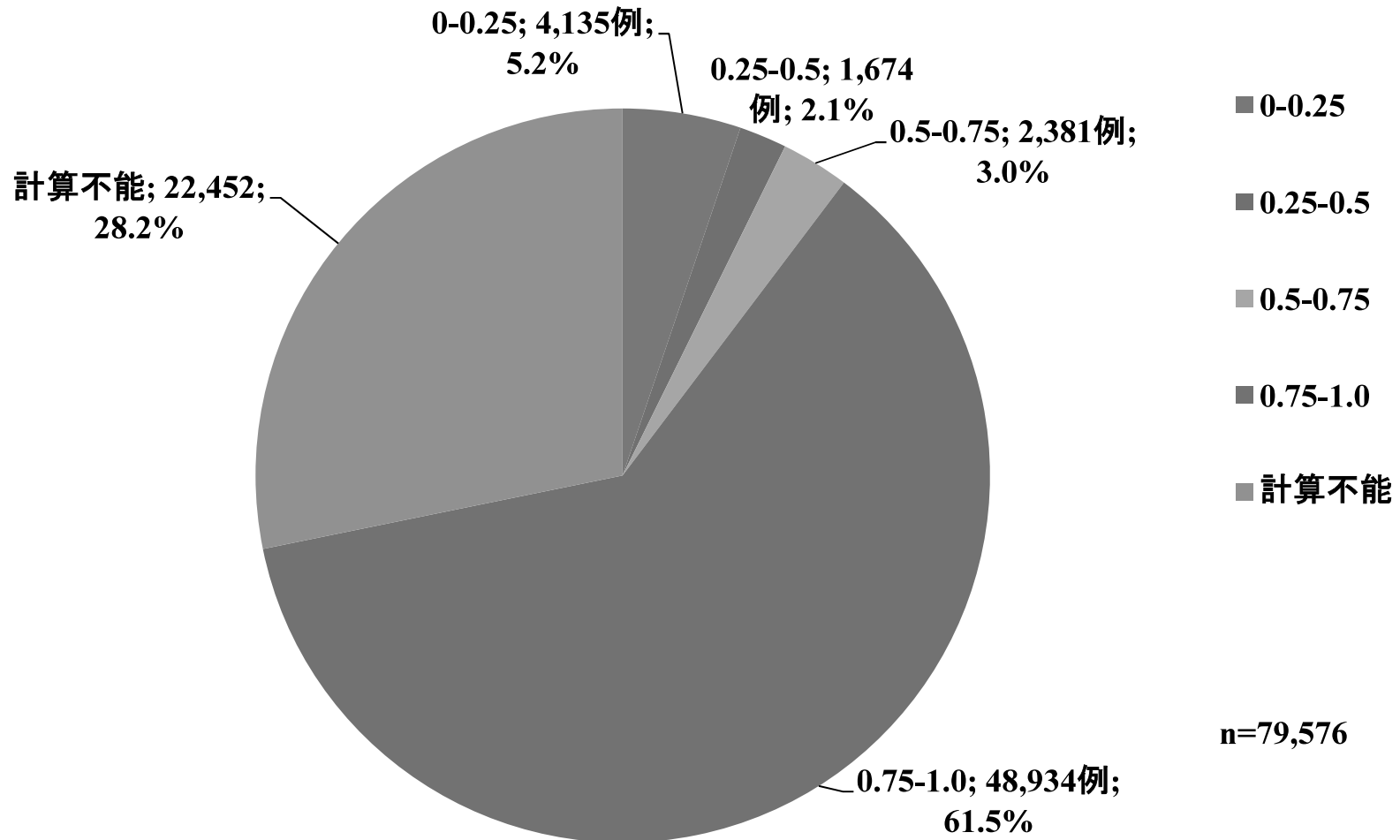
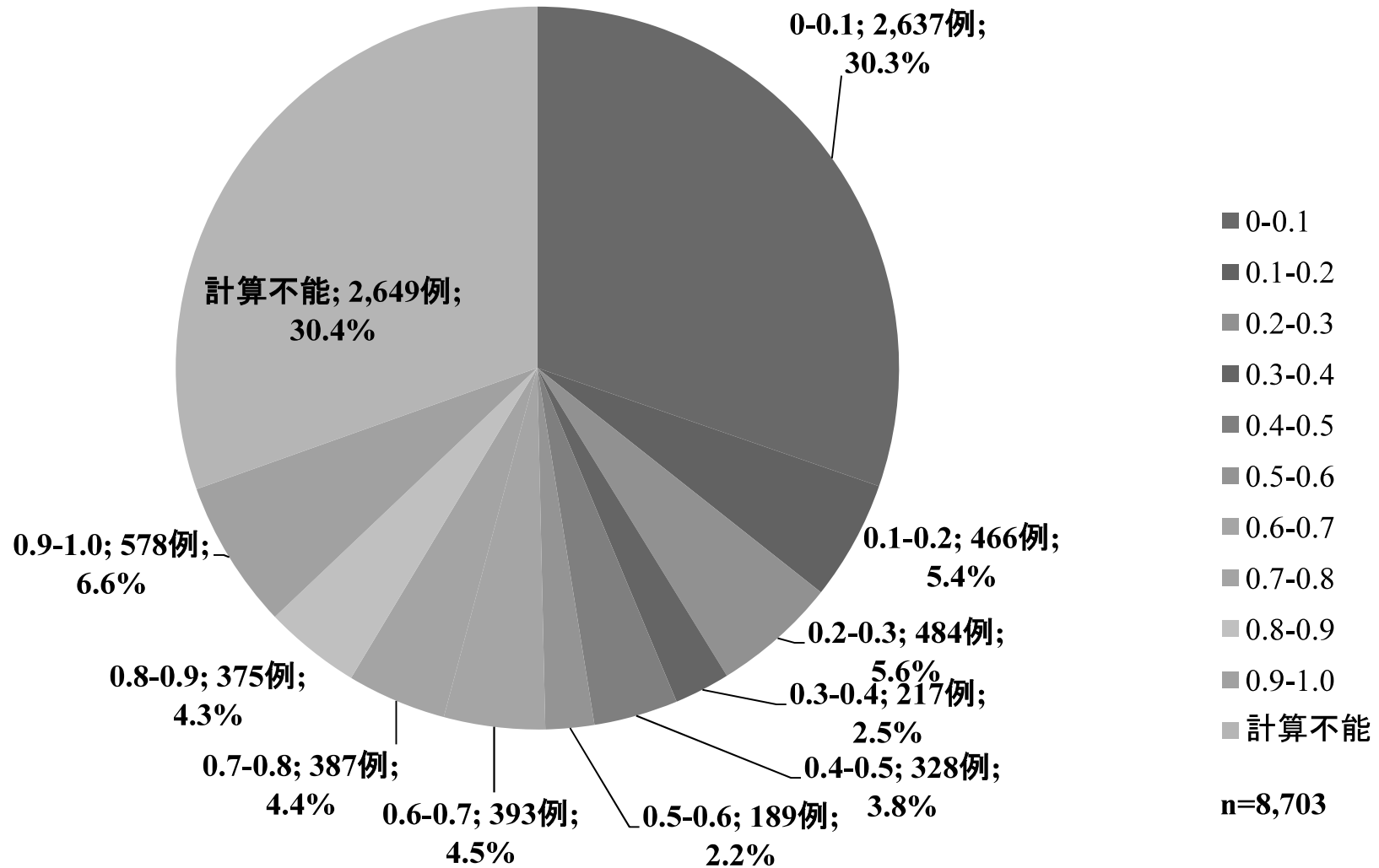


図20B ISS カテゴリー別の平均入院日数



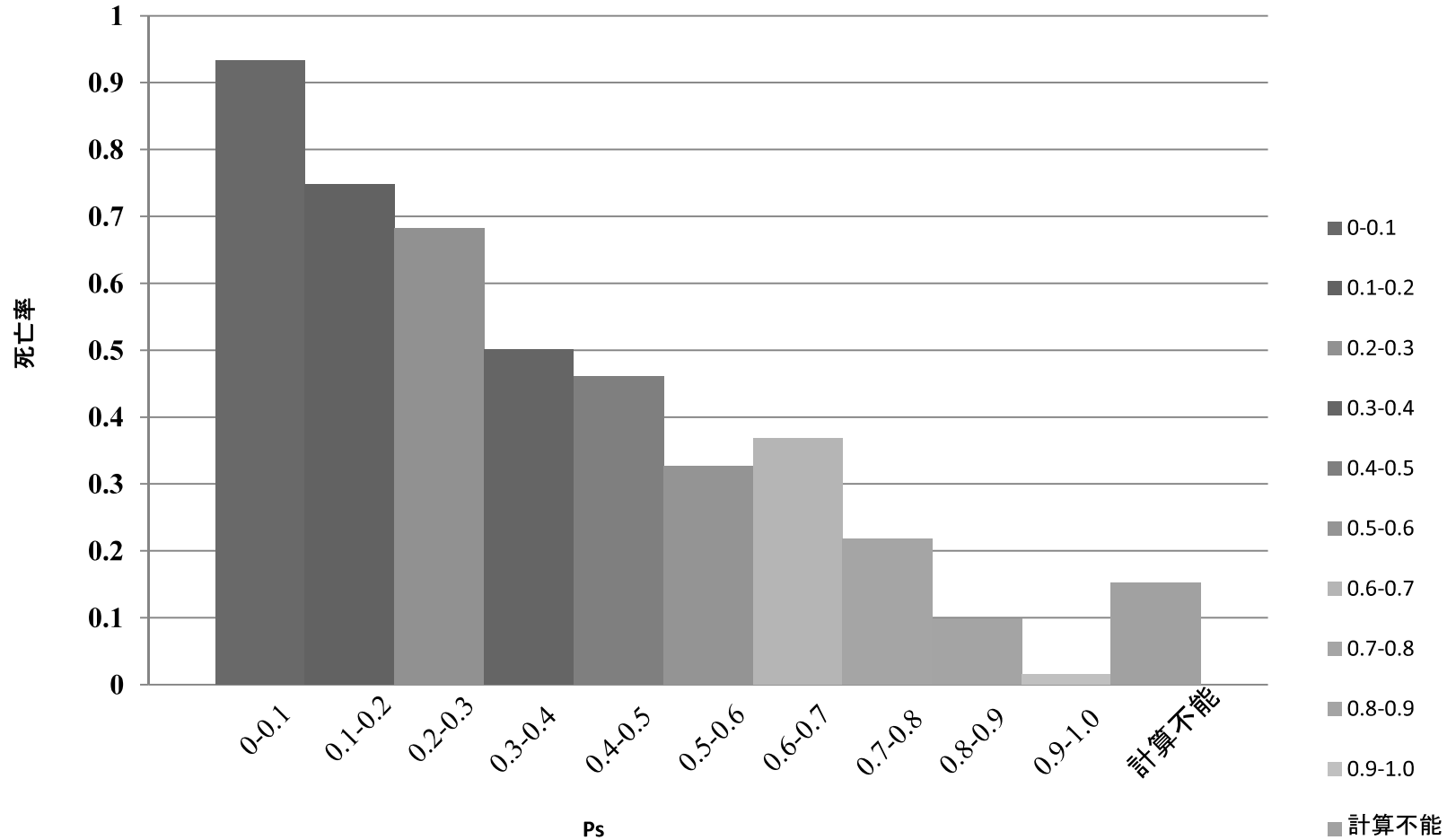
Ps(0.75-1.0)の症例が61.5%を占め、最も多かった。また、Psの計算に必要な項目が欠損している症例が28.2%あった。

図21 Probability of survival (Ps) カテゴリー別の症例数の割合



Ps が0-0.1の群が死亡者の30.3%を占め、最も多かった。

図22A Probability of survival (Ps)カテゴリー別の死亡数の割合



Psが0-0.1の群では死亡率は93.3%であったが、0.9-1.0の群では1.5%であった。Psが高くなるにつれて死亡率は減少する傾向があった。(転帰欠損症例はこの分析から除外した)

n=69,012

図22B 各Probability of survival (Ps) カテゴリーの死亡率

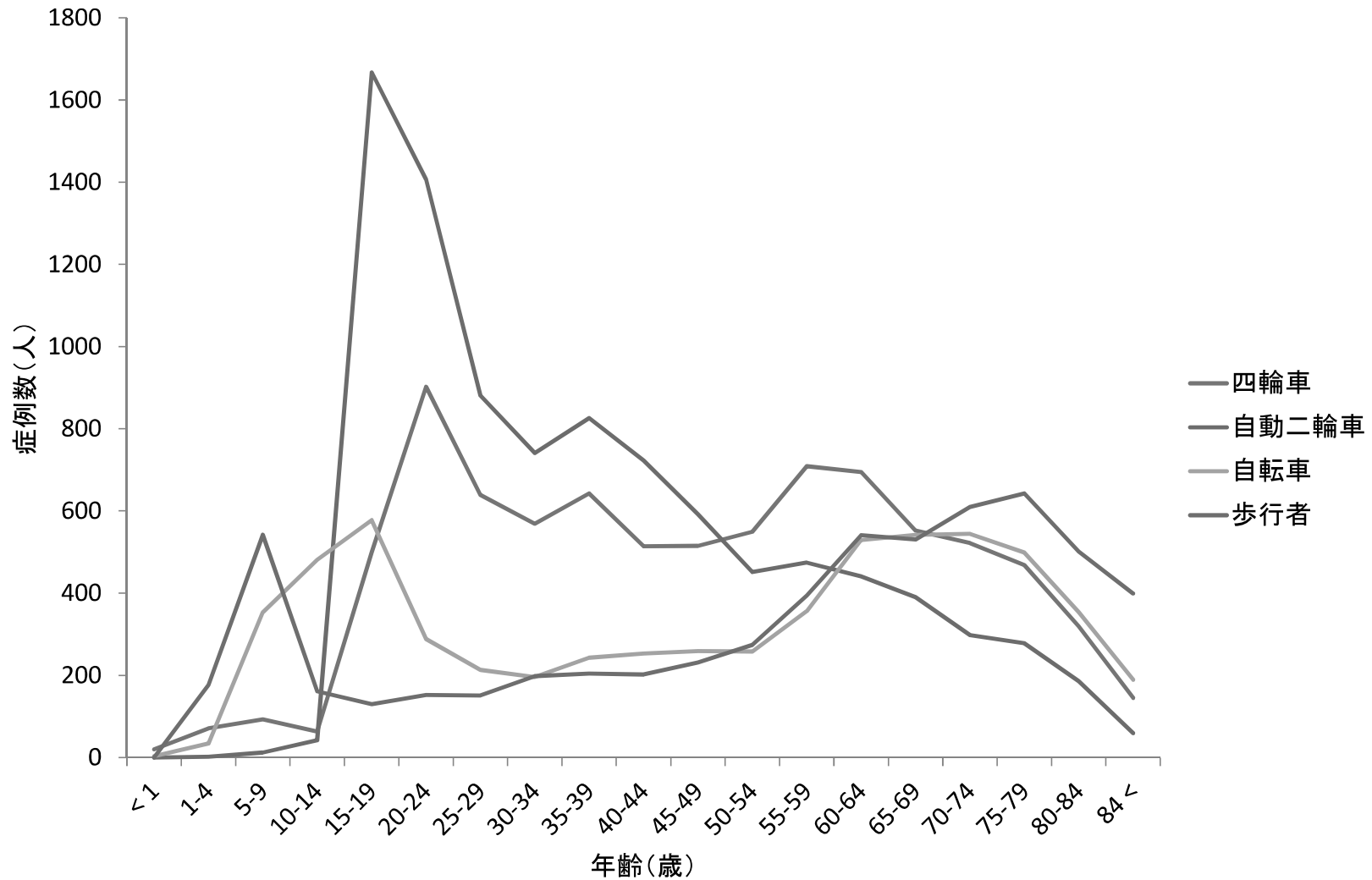


図23 交通事故患者における種類別および年齢別の患者数

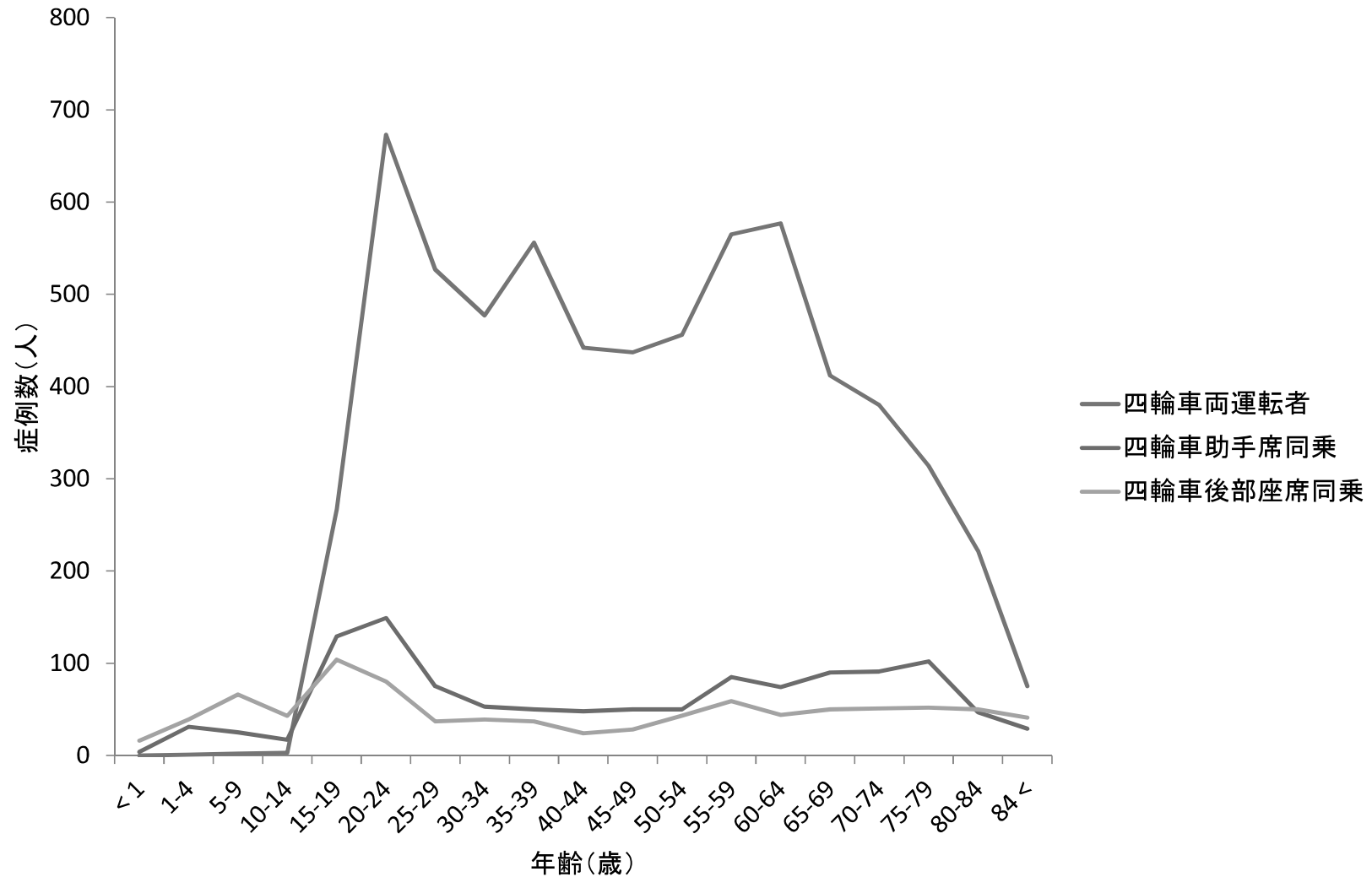


図24 四輪車事故症例数の運転者・乗客別年齢分布

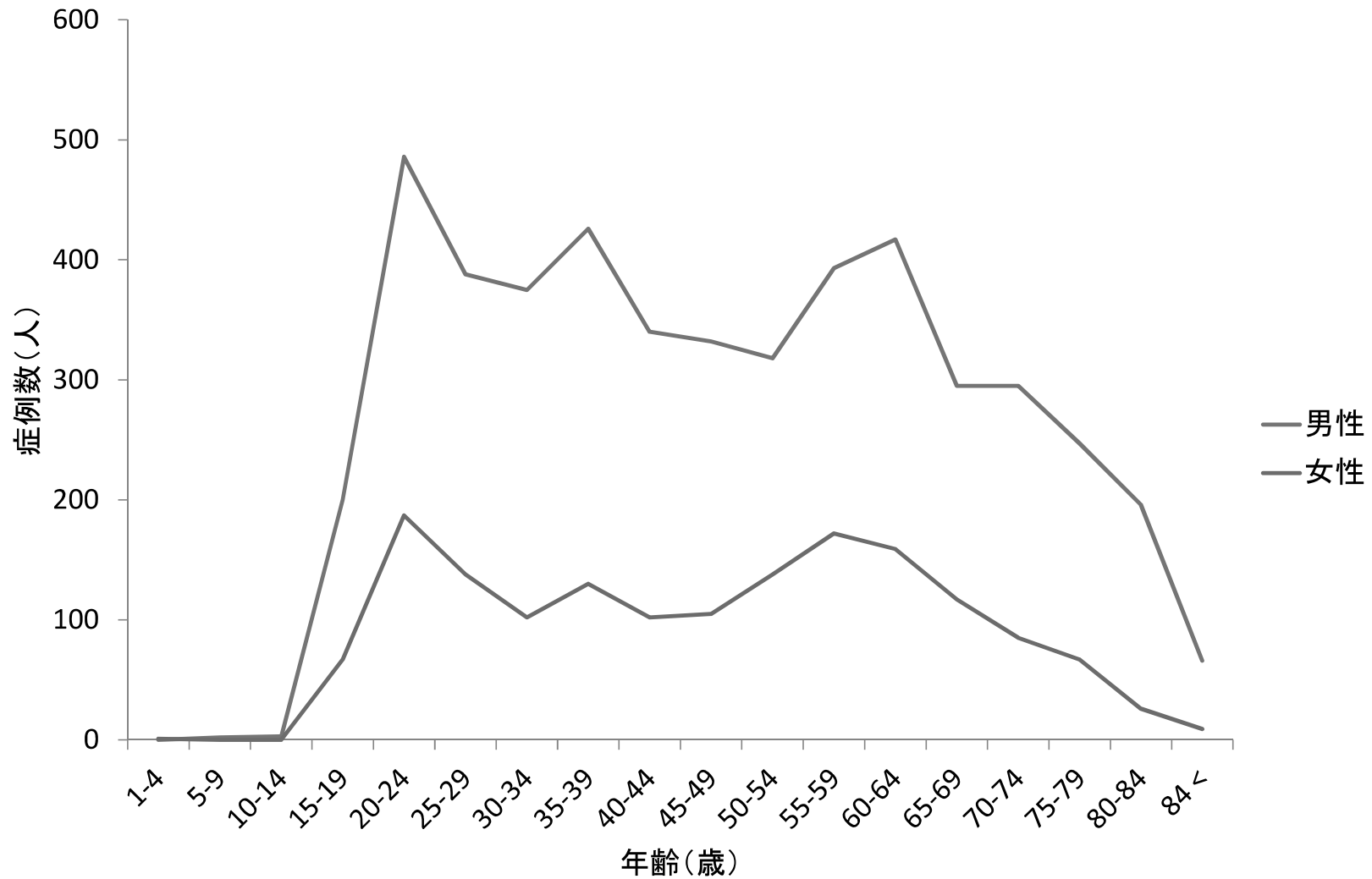


図25 四輪者事故(運転者)症例数の性別年齢分布

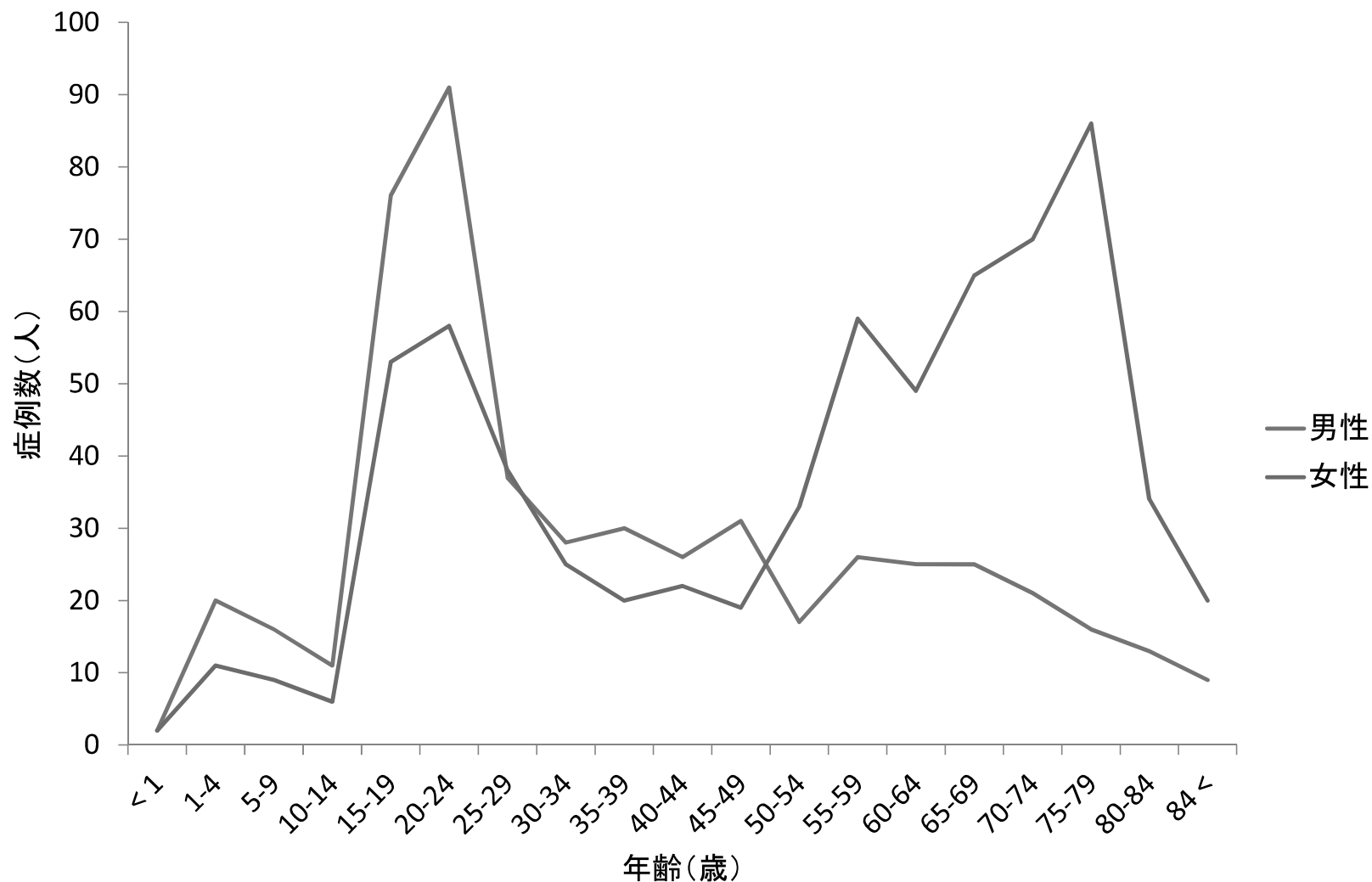


図26 四輪者事故(助手席)症例数の性別年齢分布

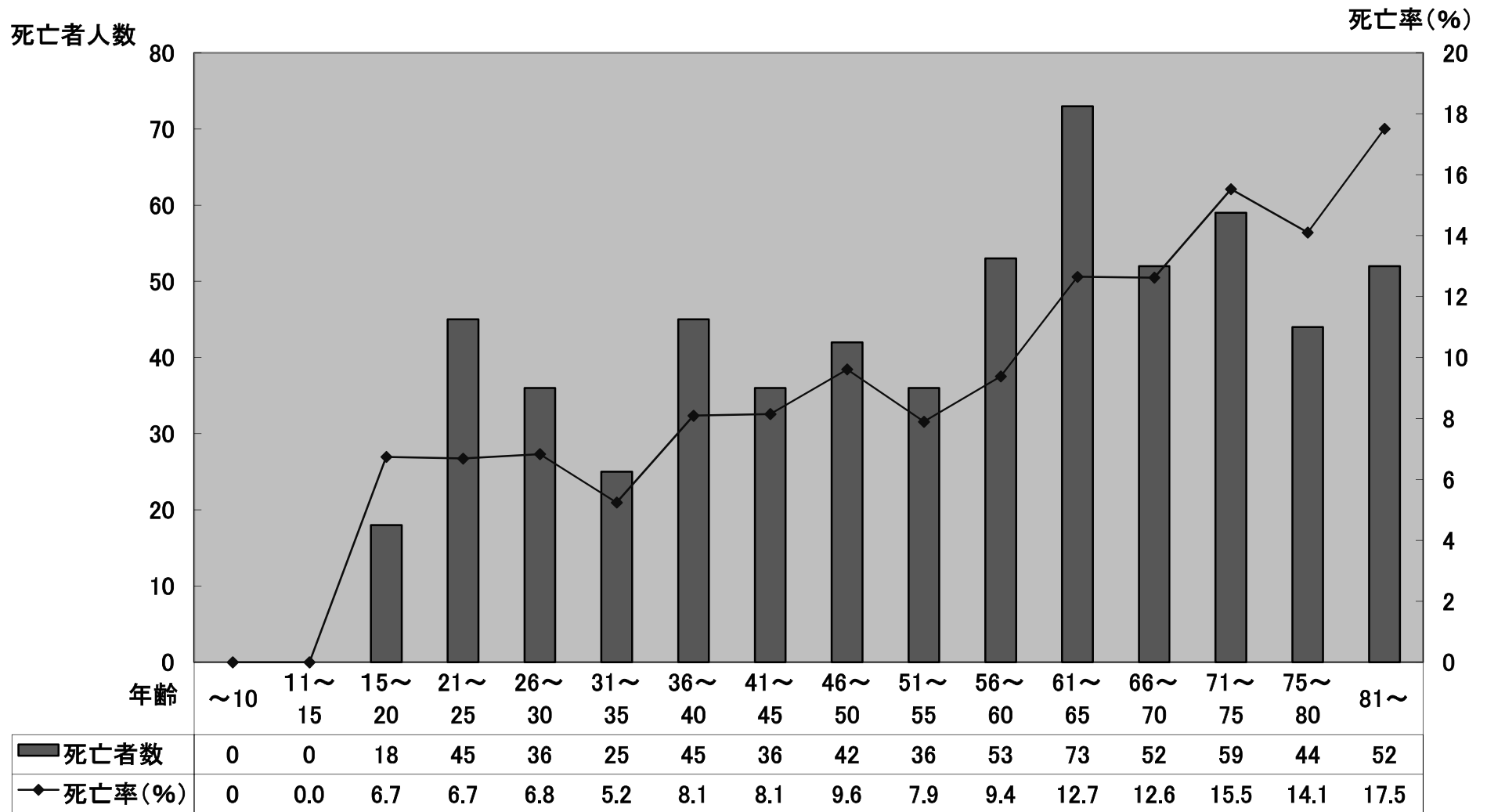


図27 四輪車における運転手の年齢別死亡者数および死亡率

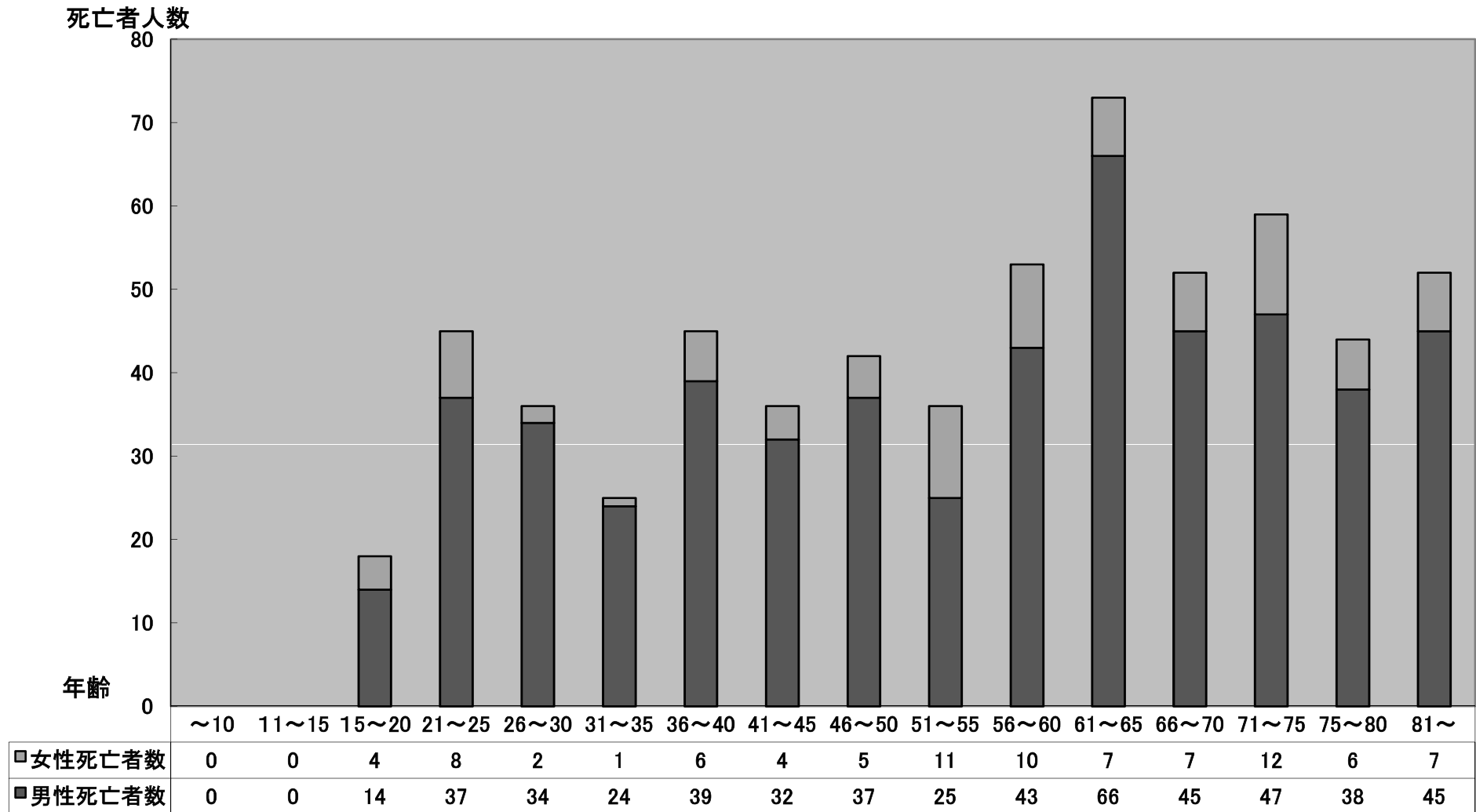


図28 性別および年齢別運転死亡者数

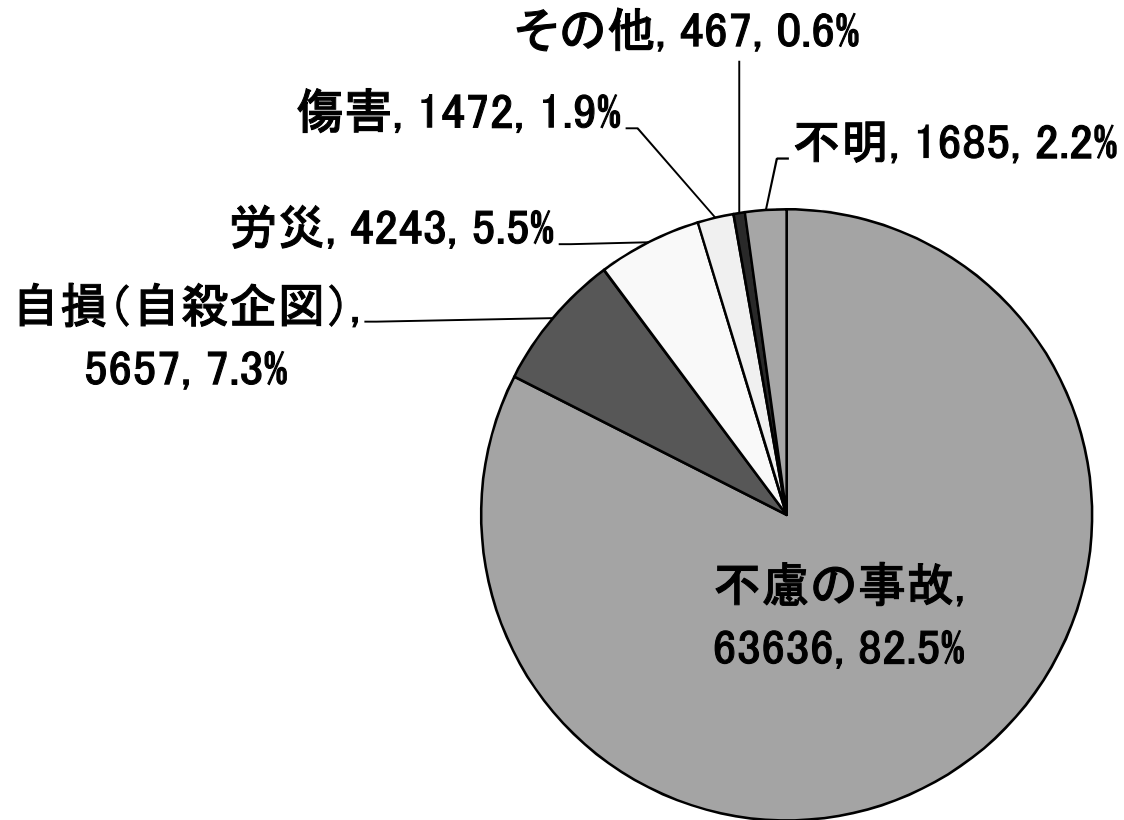


図29 外傷原因別の登録患者比率

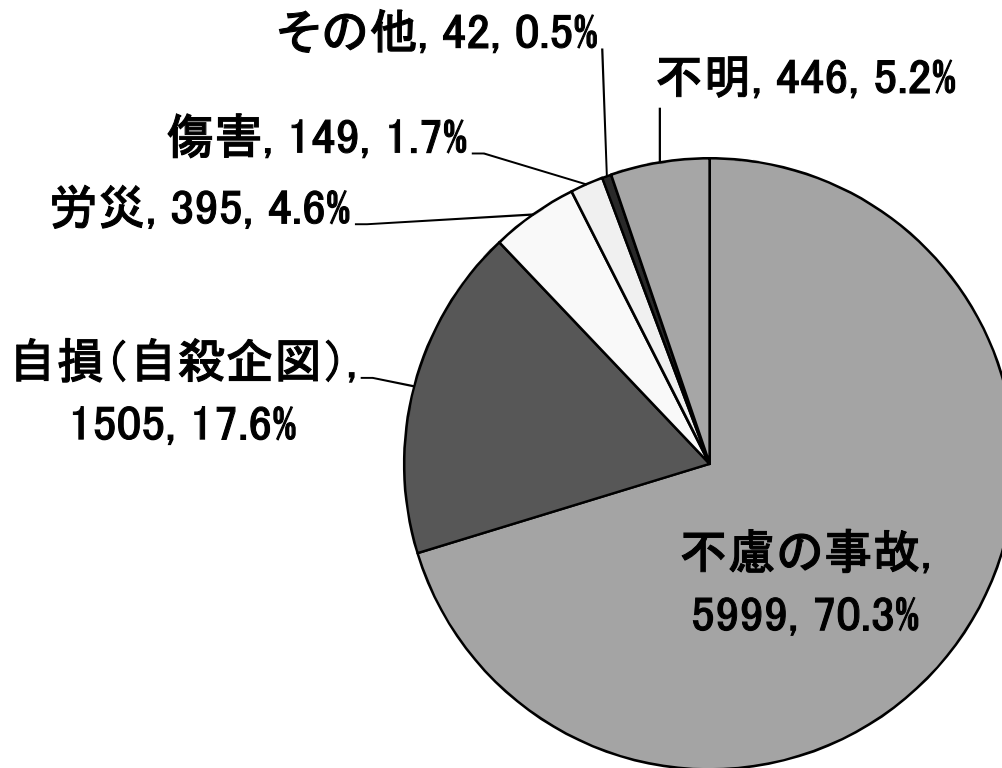


図30 外傷原因別の死亡者比率

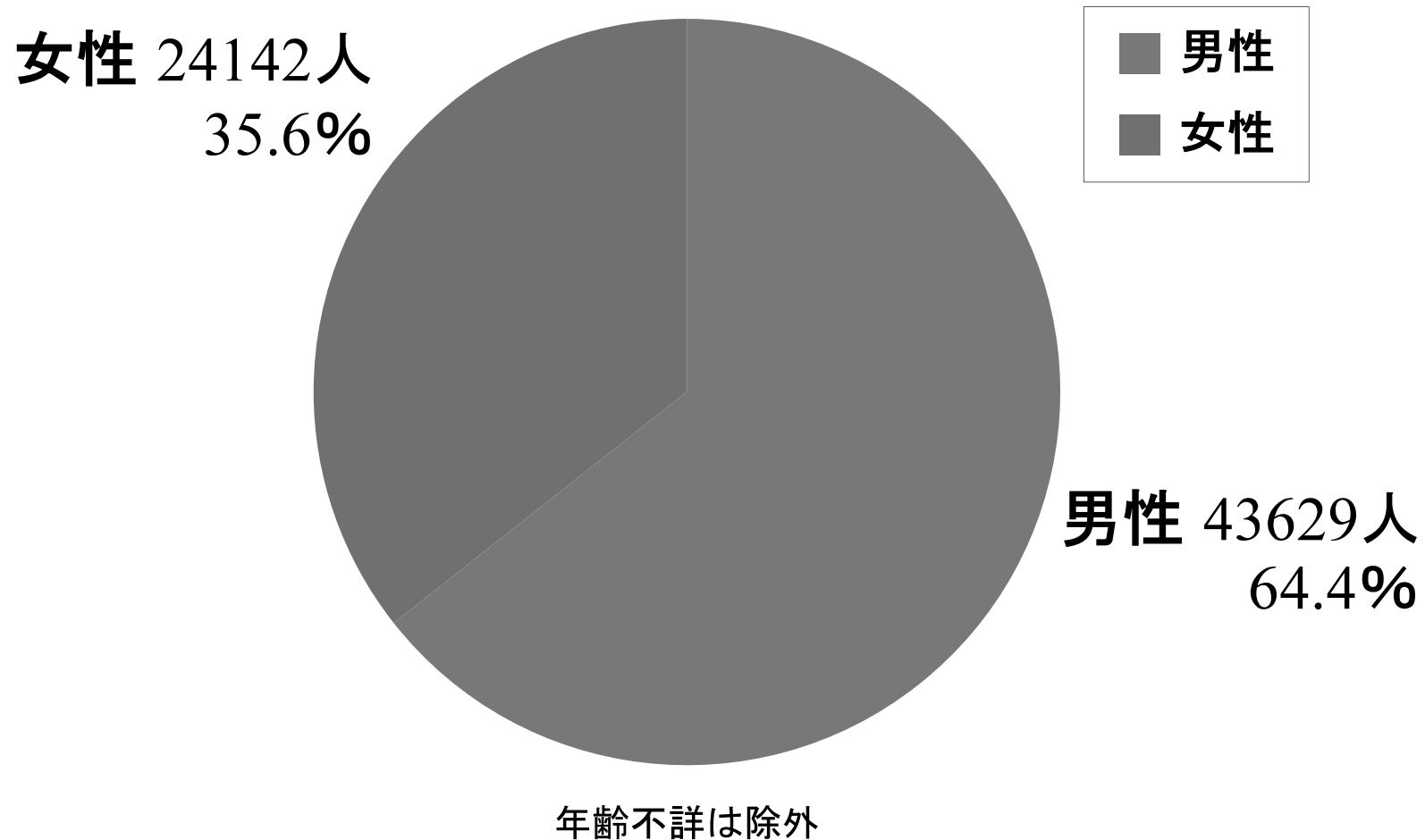


図31 不慮の事故および労災による外傷患者の性別比率

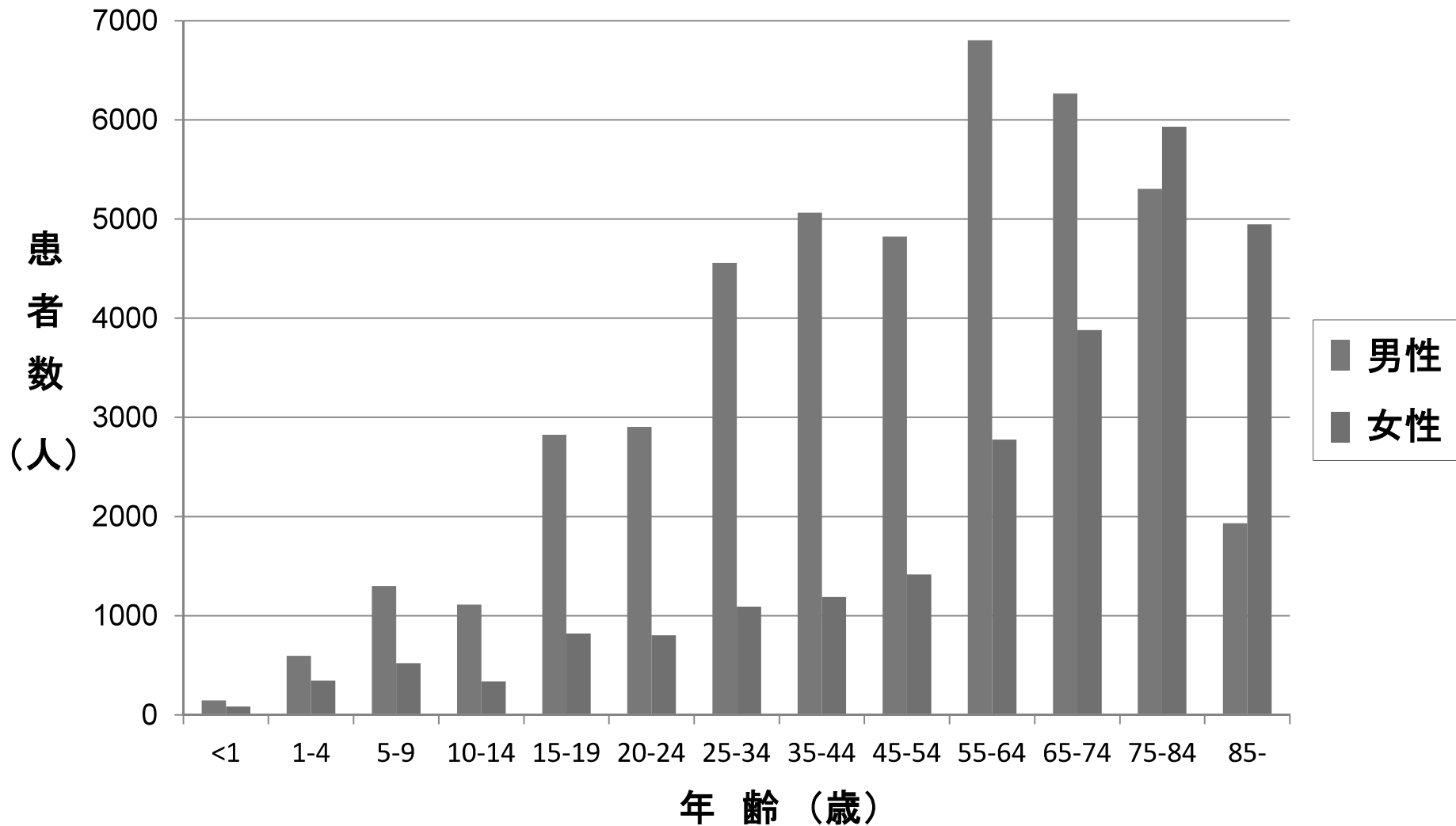


図32 不慮の事故および労災による外傷患者の性別年齢分布

年齢	男性	女性	計
< 1	146	84	230
1 - 4	595	345	940
5 - 9	1300	521	1821
10 - 14	1111	337	1448
15 - 19	2824	821	3645
20 - 24	2905	803	3708
25 - 34	4557	1092	5649
35 - 44	5064	1188	6252
45 - 54	4824	1417	6241
55 - 64	6801	2776	9577
65 - 74	6265	3881	10146
75 - 84	5305	5931	11236
85 -	1932	4946	6878
	43629	24142	67771

表32 不慮の事故および労災による外傷患者の性別年齢分布

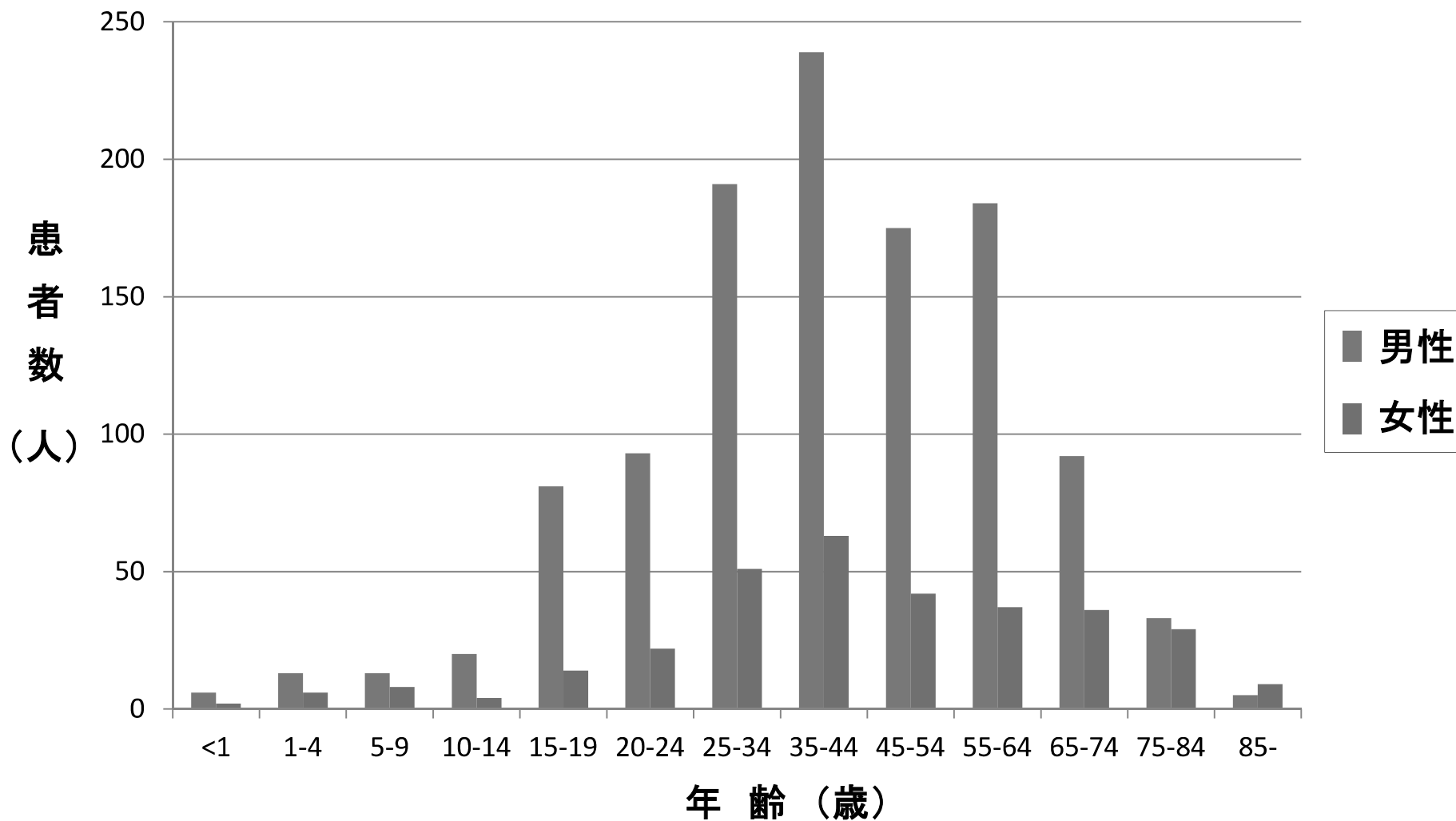


図33 傷害による外傷患者の性別年齢分布

年齢	男性	女性	計
< 1	6	2	8
1 - 4	13	6	19
5 - 9	13	8	21
10 - 14	20	4	24
15 - 19	81	14	95
20 - 24	93	22	115
25 - 34	191	51	242
35 - 44	239	63	302
45 - 54	175	42	217
55 - 64	184	37	221
65 - 74	92	36	128
75 - 84	33	29	62
85 -	5	9	14
	1145	323	1468

表33 傷害による外傷患者の性別年齢分布

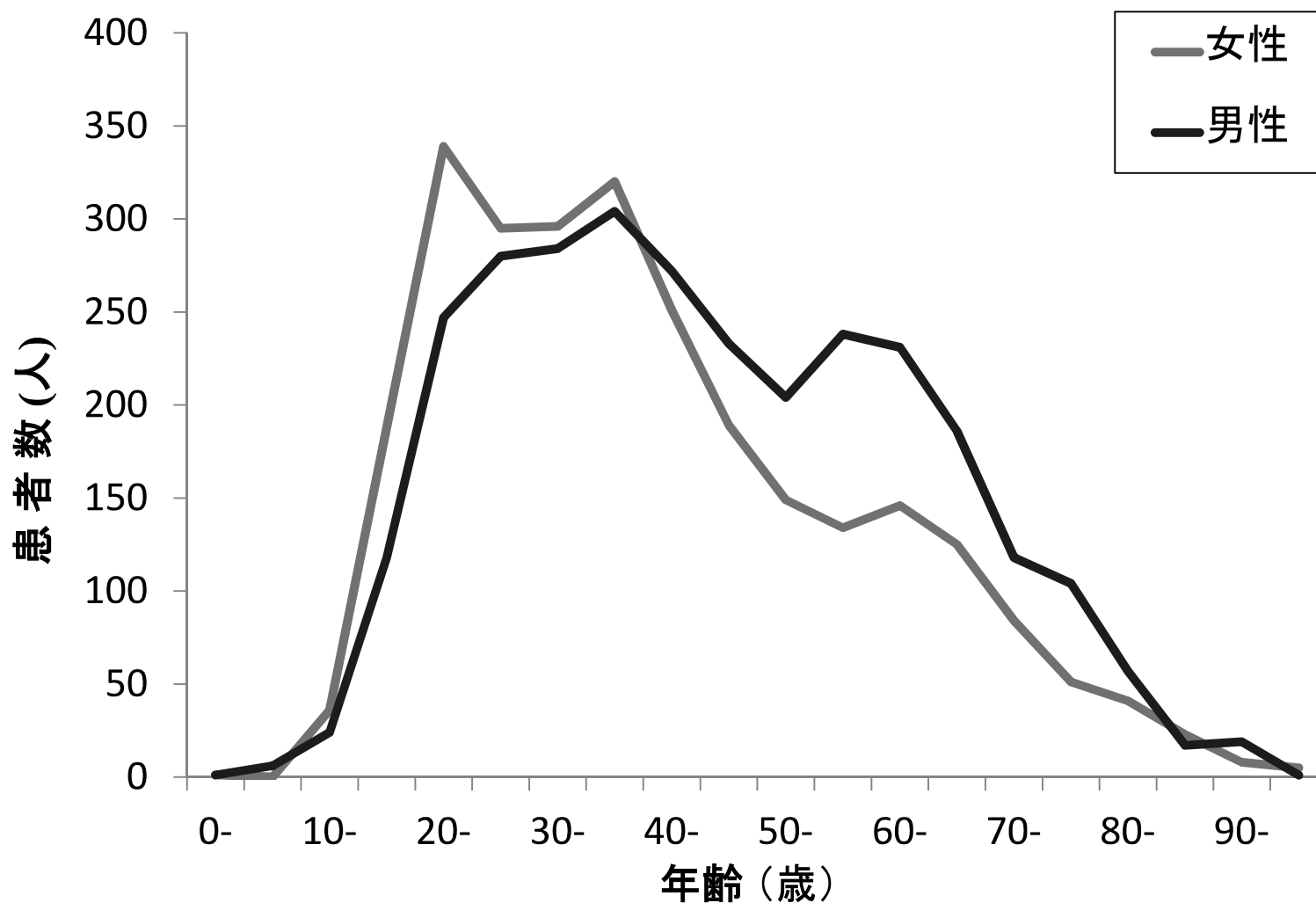
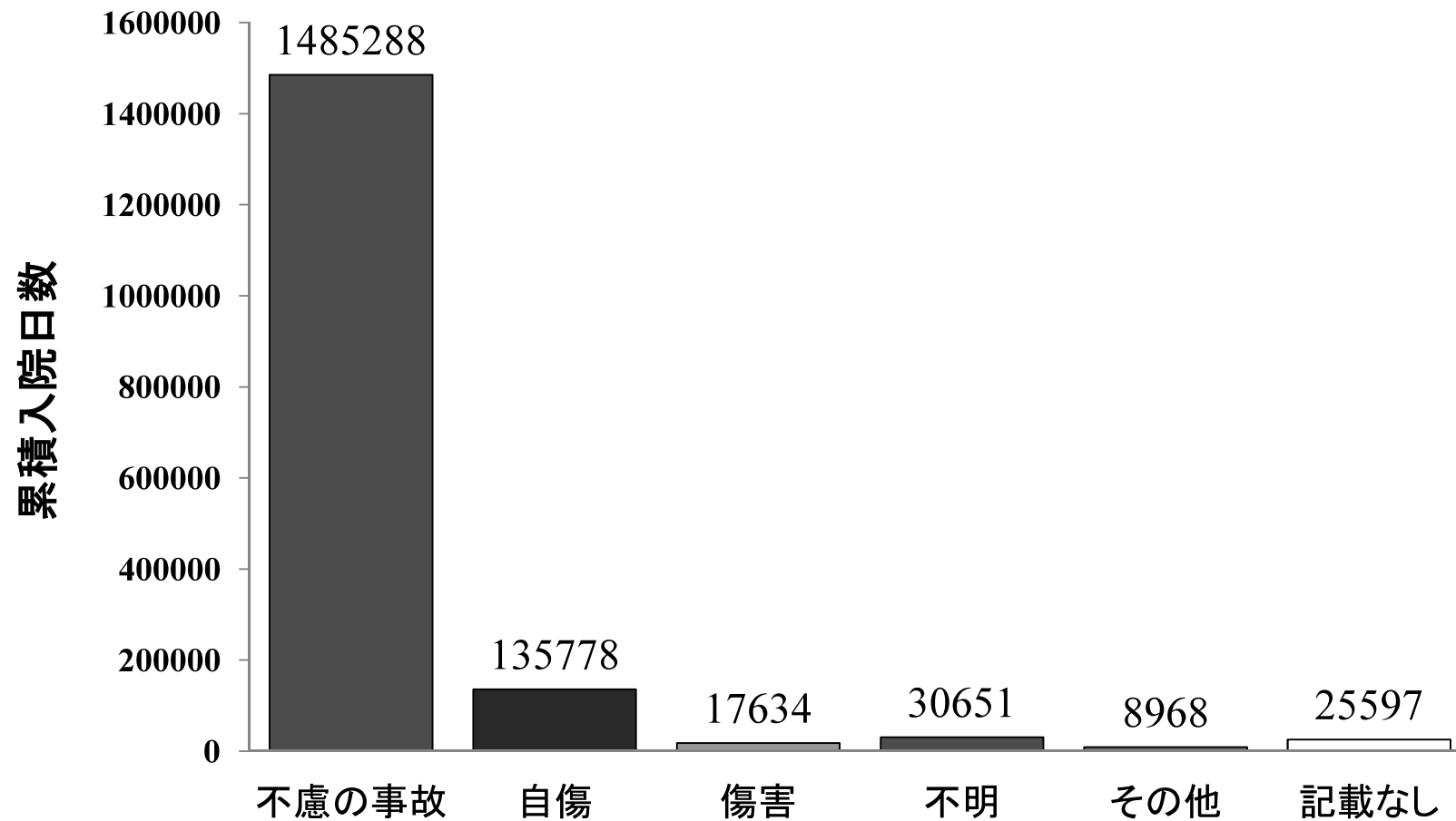


図34 自傷による外傷患者の性別年齢分布

Japan Trauma Data Bank Report 2007-2011

年齢	0-	5-	10-	15-	20-	25-	30-	35-	40-	45-	50-	55-	60-	65-	70-	75-	80-	85-	90-	95-	不明	計
女性	1	0	36	188	339	295	296	320	251	189	149	134	146	125	84	51	41	23	8	5	14	2695
男性	1	6	24	118	247	280	284	304	272	233	204	238	231	186	118	104	57	17	19	1	19	2963
計	2	6	60	306	586	575	580	624	523	422	353	372	377	311	202	155	98	40	27	6	33	5658

表34 自傷による外傷患者の性別年齢分布



「記載なし」とは、外傷原因の記載がないものを指す。
不慮の事故には、労災も含まれる。

図35A 外傷原因別の累積入院日数

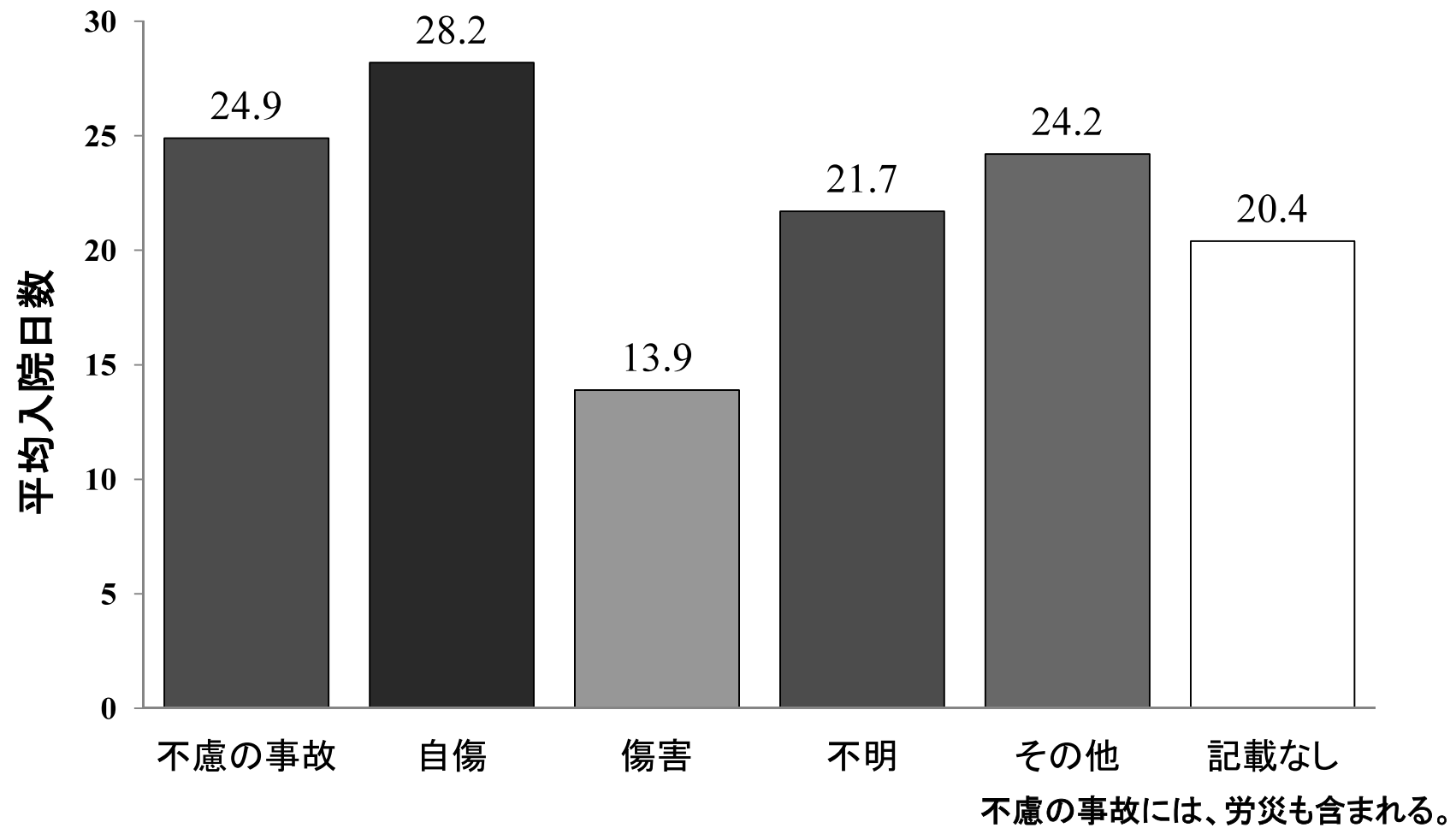


図35B 外傷原因別の平均入院日数

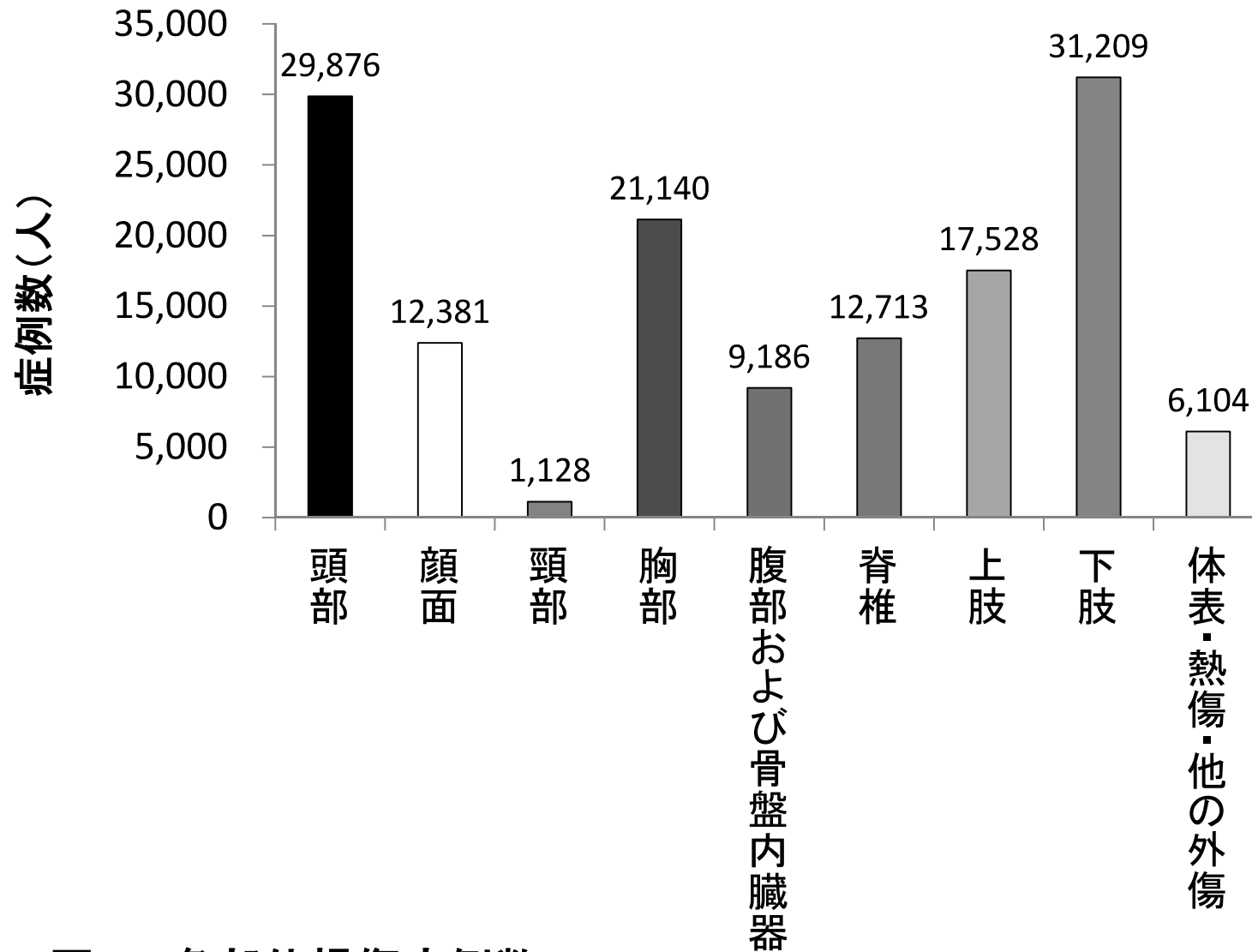


図36 各部位損傷症例数

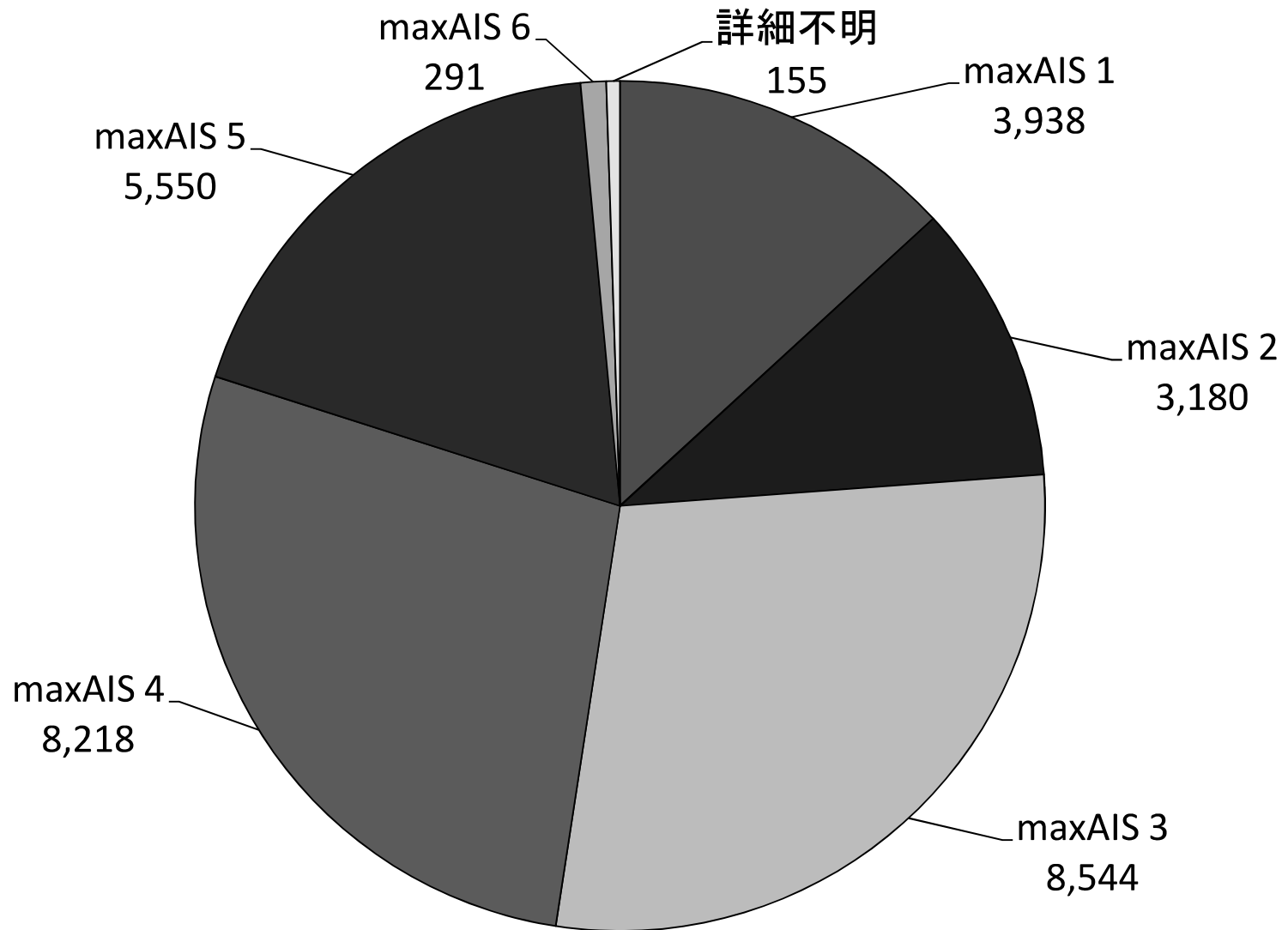


図37A 頭部損傷とmax AIS重症度

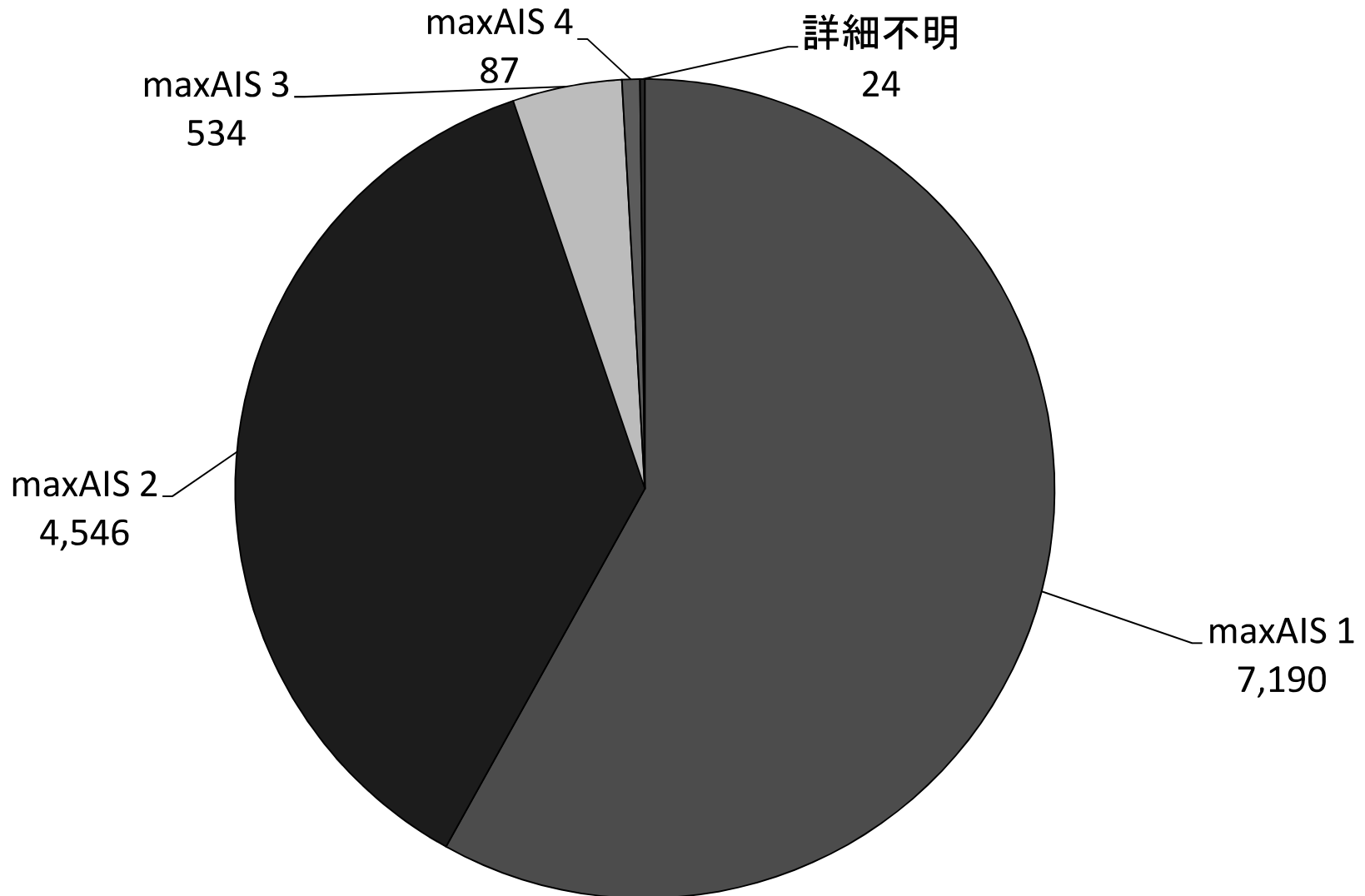


図37B 顔面損傷とmax AIS重症度

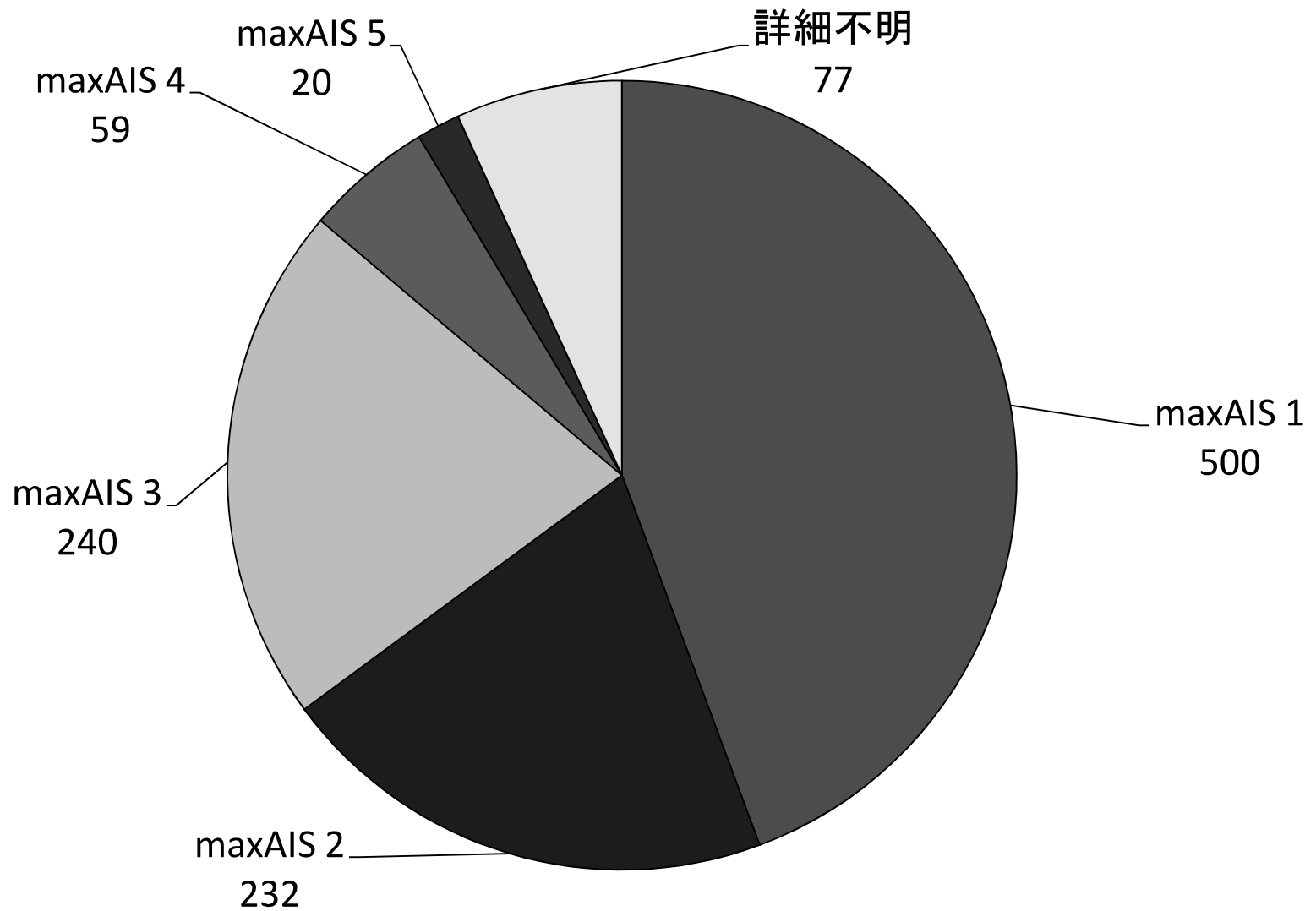


図37C 頸部損傷とmax AIS重症度

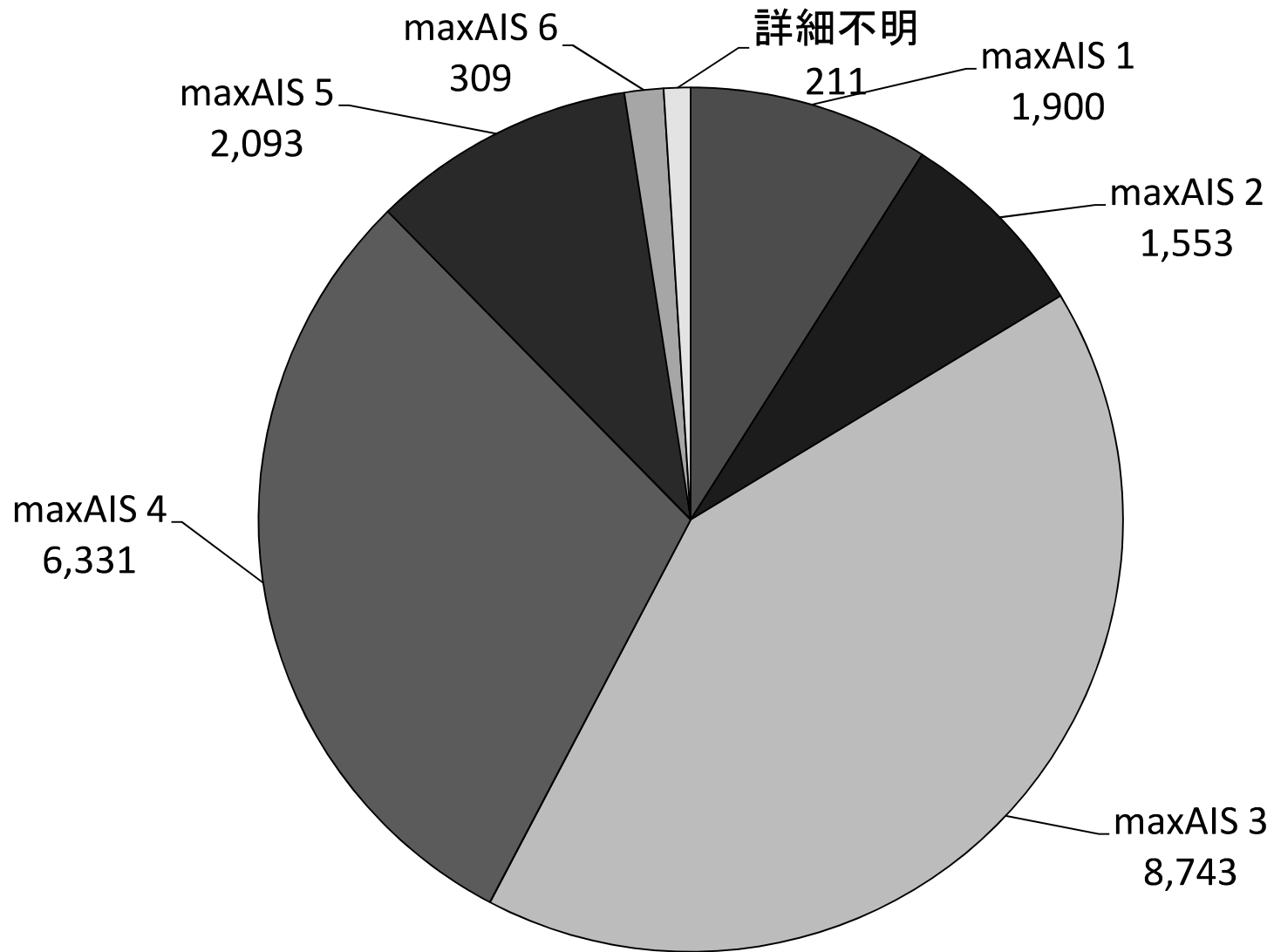


図37D 胸部損傷とmax AIS重症度

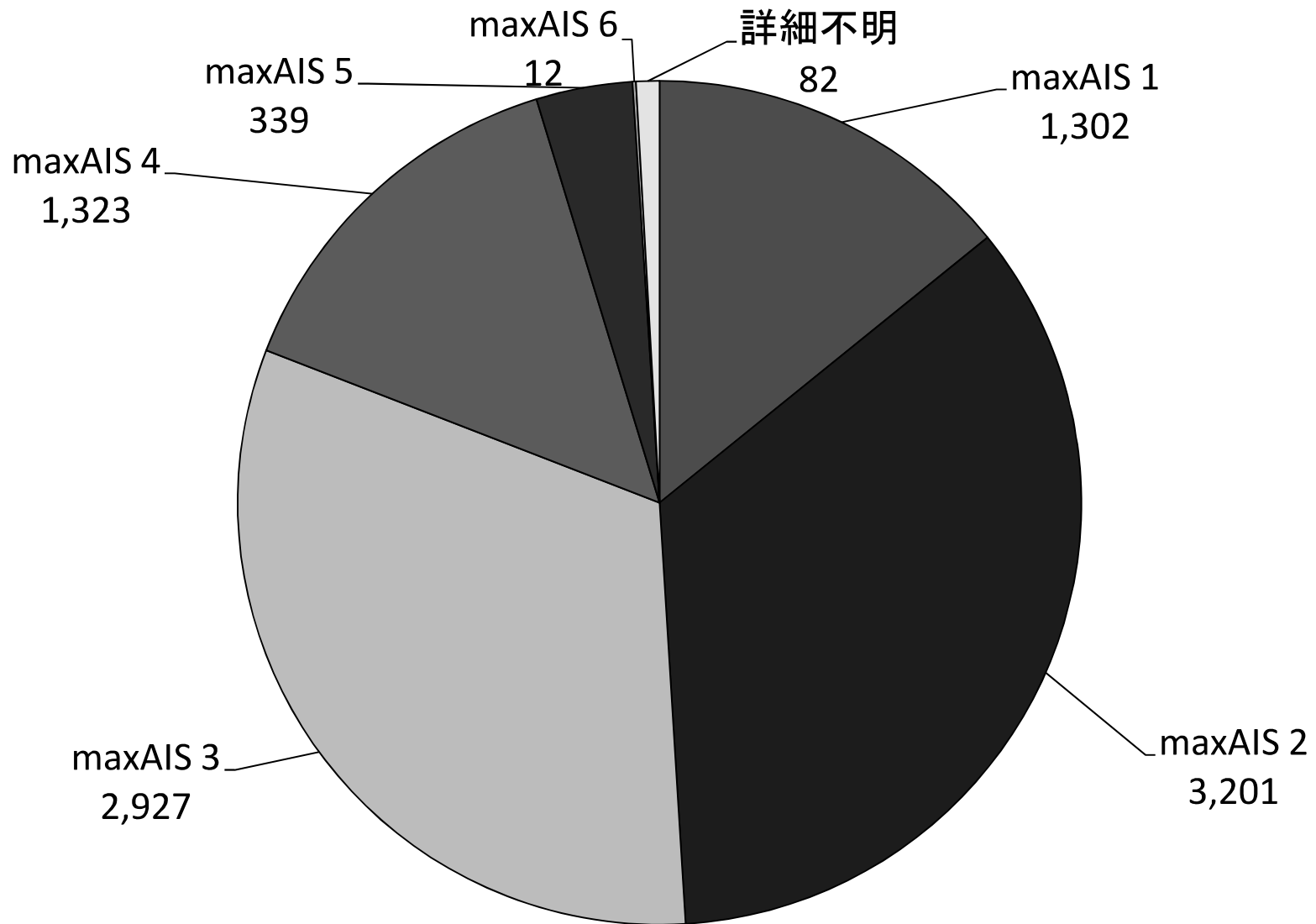


図37E 腹部および骨盤内臓器損傷とmax AIS重症度

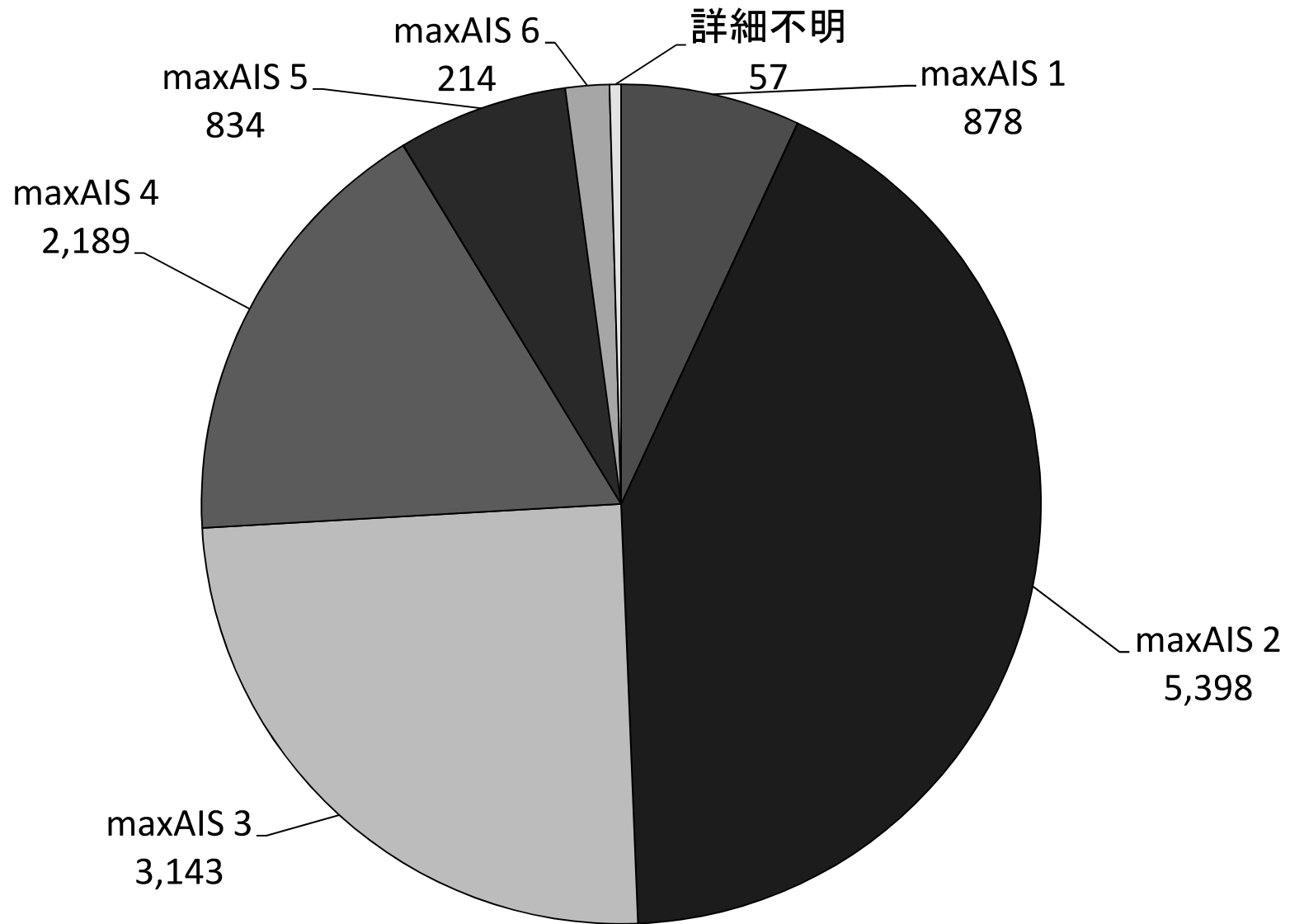


図37F 脊椎損傷とmax AIS重症度

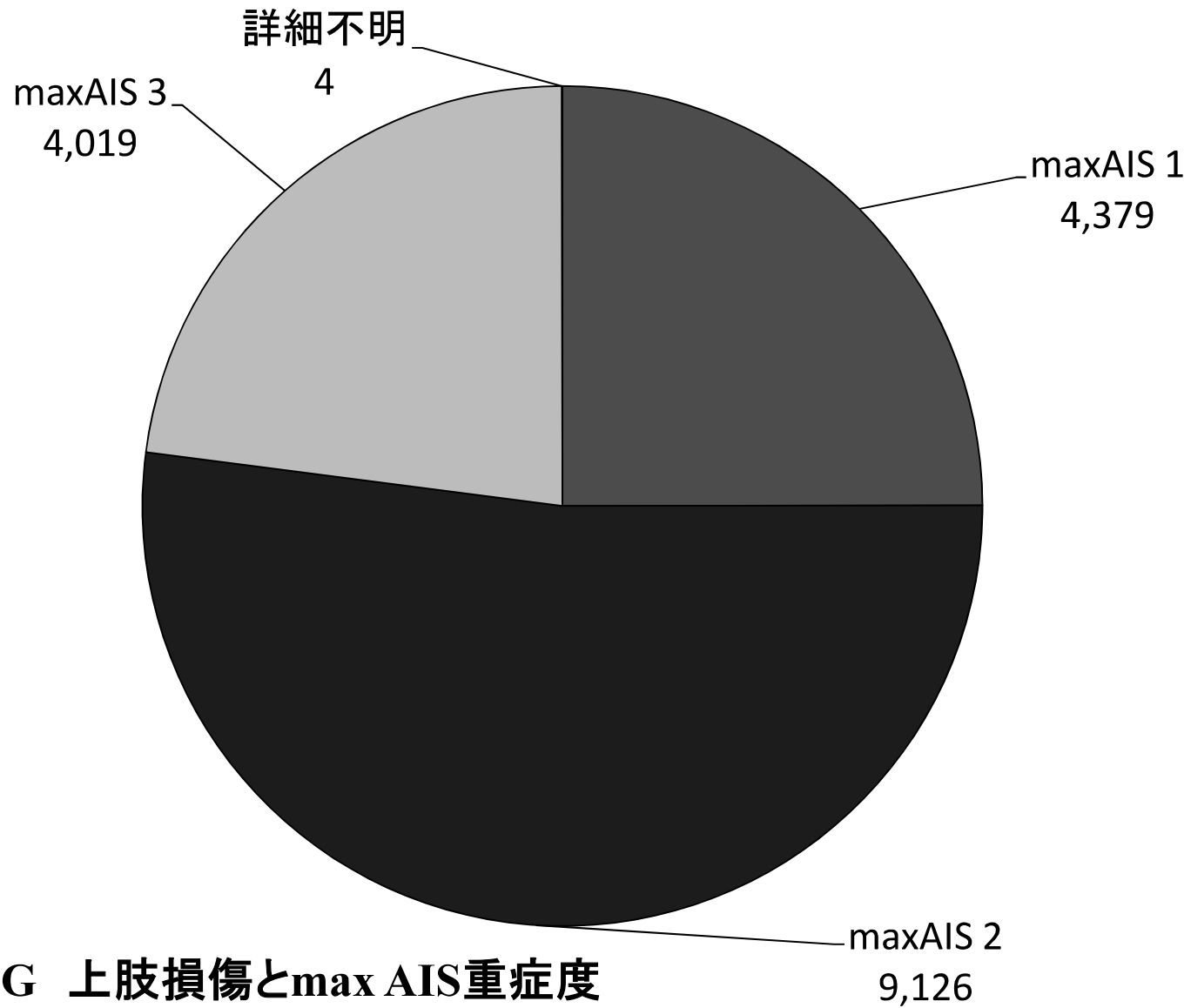


図37G 上肢損傷とmax AIS重症度

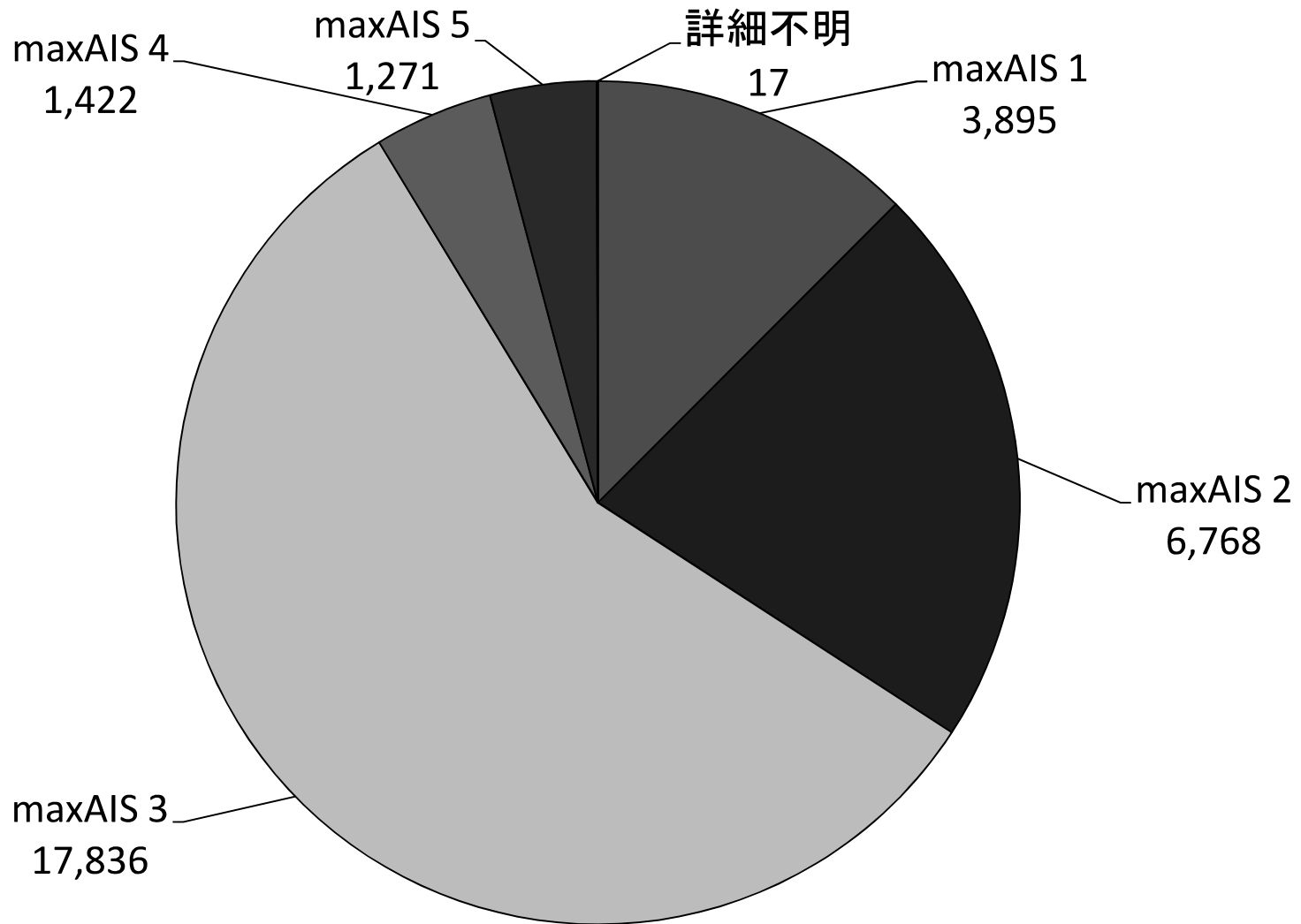


図37H 下肢損傷とmax AIS重症度

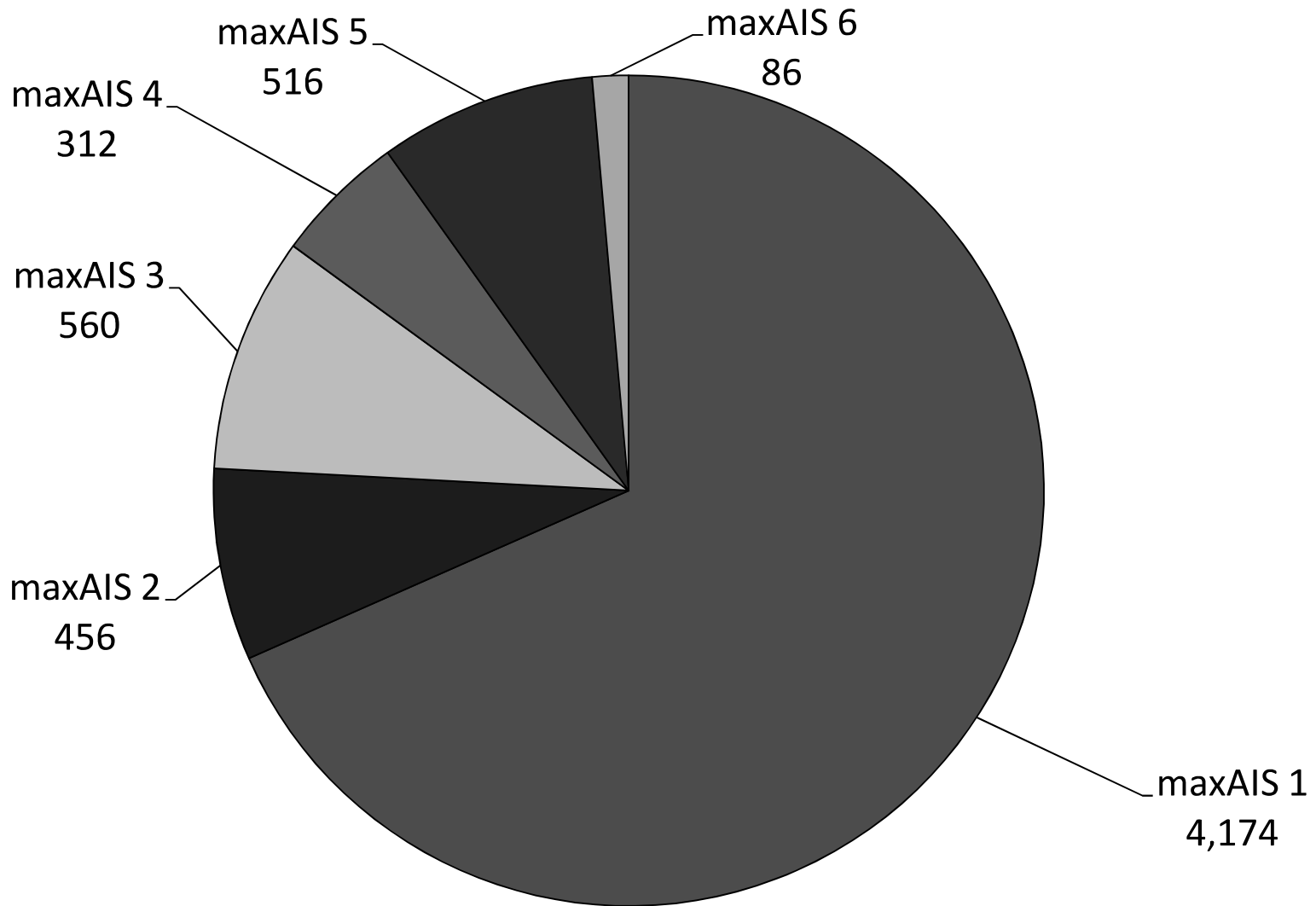


図37I 体表・熱傷・他の外傷とmax AIS重症度

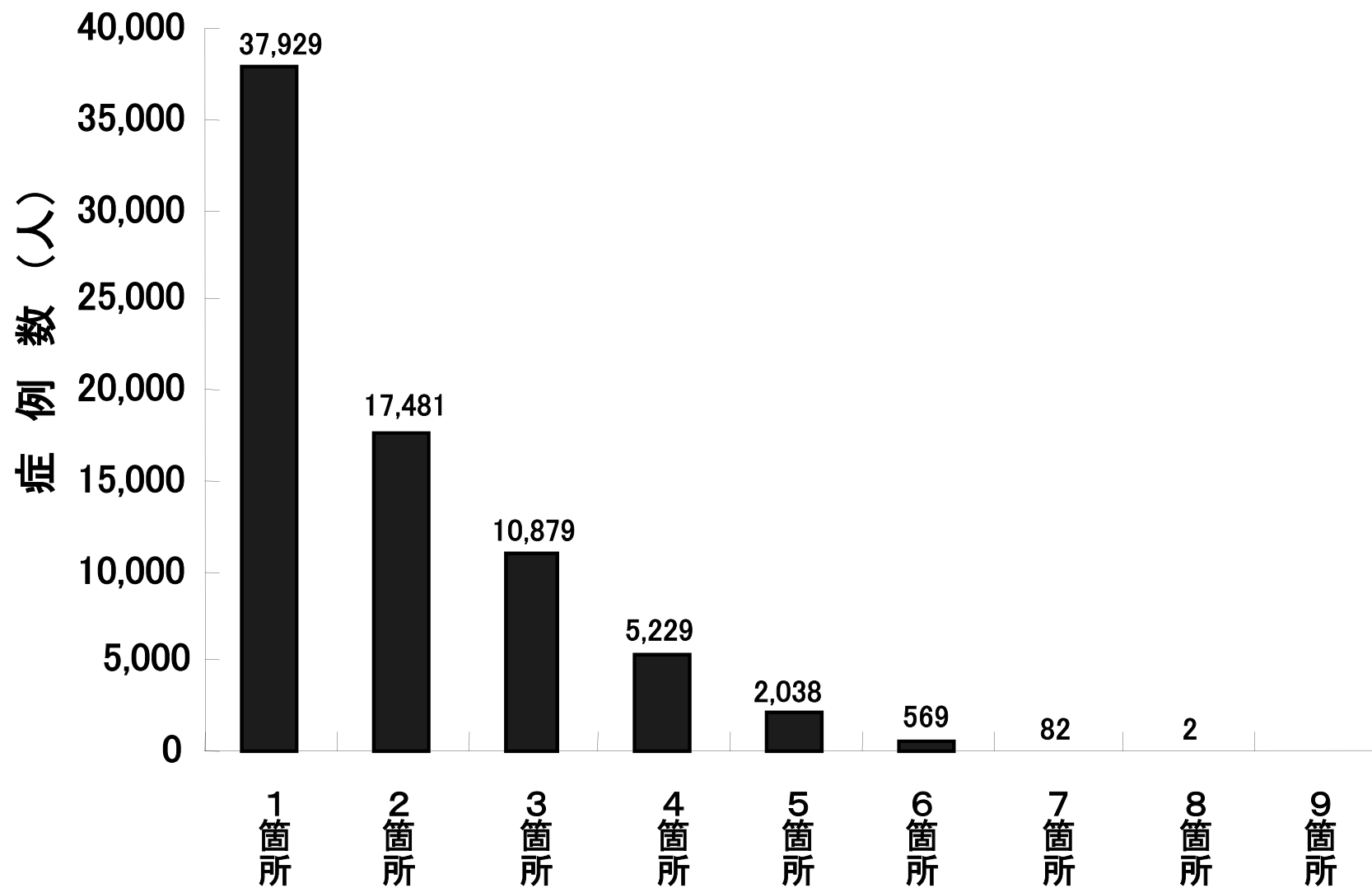
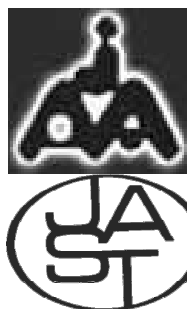


図38 AIS損傷区分に基づく損傷箇所数と症例数

日本外傷データバンク報告 2012
(2007-2011)

JAPAN TRAUMA DATA BANK
REPORT 2012 (2007-2011)

2012年11月13日



日本救急医学会 診療の質評価指標に関する委員会
委員長 小池 薫

日本外傷学会 ト라우マレジストリー検討委員会
委員長 坂本哲也

タスクフォース

青木 則明
上野 正人
内田 靖之
織田 順
阪本雄一郎
木村昭夫
齋藤大蔵
田中 啓司
東平日出夫
中原 慎二
林 宗貴
福田充宏
増野智彦
山口芳裕